



# 2018 2019

## 活動年報



大阪医科大学  
女性医師支援センター

# センター年報発刊に際して

超少子高齢社会における労働生産性の向上を目指して働き方改革関連法が整備され、医師に課せられた重い「応召義務」を現代に合わせて解釈することによって医師にも労働者として働き方改革関連法を適用することが可能になりました。この改革により医師の労働時間は短縮される反面、医師の供給不足が起これ医療崩壊が誘発される危険性があることから、医師の確保が重要になっています。この医師確保の方策のひとつに女性医師への支援があります。女性医師がライフイベントの際も医療現場を離れることなく現場で生き生きと活躍できる環境を整え、また止むを得ず一度離職した女性医師が短期間の研修などで復職しやすい環境を作ることにより、医師の需要を確保しようという施策です。



本法人では、院内保育室や医療総合研修センターを整備し、女性医師のキャリアの維持発展ができるような様々な対策を立ててまいりました。しかし、その専門性や仕事の厳しさから、尚十分な対応ができていないのが現状です。

おりしも、政府主導による医師の働き方改革が強く推し進められ、その一環として「女性医師等に対する支援」が掲げられました。これを機会に、本法人は 2018 年に女性医師支援センターを設置し、必要な情報の収集や整理及び提供を行い、個の事情に応じた勤務形態の多様化を含め、総合的に女性医師のキャリア形成を支える環境を整備する取組みを始めました。ここに 2 年間の活動をまとめた年報を発刊することができましたのも、スタッフの皆さんをはじめ関係各位のご尽力によるものと感謝いたします。

将来的には、新型コロナウイルス感染症対策を機に根付き始めた新しい生活様式の中で、女性の医師のみならず、男性医師、看護師やコメディカル、事務職員、さらには高齢者、障がい者にも対象を拡げ、ダイバーシティ（多様な人材を活かす戦略）を推進し、本法人の職員が生き生きと働くことができる組織作りを行いたいと考えております。

本法人は、教育・研究・医療の COC（Center of community）として、サステナビリティ（持続可能性）活動を通じた社会貢献も責務のひとつと考えており、本センターの活動は本法人が共感する SDGs（Sustainable Development Goals）の 17 の目標にある「ジェンダー平等」の実現にも寄与すると信じています。

皆様におかれましては、今後とも女性医師支援センターにご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

学校法人大阪医科薬科大学  
理事長 植木 寛



# 目次

|                      |    |
|----------------------|----|
| はじめに                 | 1  |
| 女性医師支援センターの歩み        | 3  |
| 年報発刊に際して             | 3  |
| <br>                 |    |
| 第1章 女性医師支援センター事業について |    |
| 1. 事業趣旨と事業概要         | 4  |
| 2. 構成員               | 6  |
| 3. 会議                |    |
| 1) 運営会議              | 7  |
| 2) 運営推進会議            | 8  |
| <br>                 |    |
| 第2章 主な活動報告           | 9  |
| 1. 情報の収集             |    |
| 1) 各種制度の調査           | 11 |
| 2) 女性医師等へのアンケート調査    | 11 |
| 3) 診療科へのアンケート調査①     | 18 |
| 4) 診療科へのアンケート調査②     | 23 |
| 2. 情報の発信             |    |
| 1) HPの開設             | 26 |
| 2) リーフレットの発行         | 27 |
| 3) スマートニュースの発行       | 27 |
| 4) 交流会開催             |    |
| ①院内開催                | 29 |
| ②院外開催                | 33 |
| 5) 開設一周年記念講演会開催      | 34 |
| 6) 各種説明会及び懇談会        | 35 |
| ①大阪医科大学医師会座談会        |    |
| ②臨床研修医採用説明会          |    |
| 7) 各種刊行誌への掲載         | 36 |
| ①学報掲載                |    |
| ②大阪医科大学仁泉会ニュース掲載     |    |
| ③医療連携室ニュース「みずき」掲載    |    |
| 3. 課題の整理と改善活動        |    |
| 1) ライフイベントに利用できる制度   | 37 |
| 2) 短時間正職員制度の見直し      | 39 |
| 3) レジデントの短時間勤務制度施行   | 40 |
| 4) 一時保育制度の開設         | 41 |
| 5) ベビーシッター派遣事業割引券    | 42 |
| 6) マタニティレンタル白衣       | 43 |
| 7) 病児保育所の紹介          | 44 |
| <br>                 |    |
| 第3章 今後の活動計画          | 46 |
| おわりに                 | 47 |

# はじめに





働き方改革関連法の一部が  
2019年4月1日より施行  
されました。医師に関しては  
医師法第19条の「応召義務」  
を負っているため、働き方改  
革の適用が難しいと考えられ  
ていました。しかし、応召義  
務を現代的に解釈することで  
2024年には医師や教員も労  
働者として働き方関連法が適



用されることとなり、厚生労働省から「医師の労働時間短縮に向けた緊急的な取組」として5つの項目が提案されました。その中の一つに「女性医師等の支援」が含まれています。

そこで厚生労働省の提案を受け、出産・育児・介護といったライフイベントを迎える女性医師に対してキャリア形成支援を行ない女性医師が継続して医療に従事できる環境を整えることを目的に女性医師支援センターが法人内に開設され、センター長を拝命することになりました。

将来的には対象を女性医師のみならず男性医師や他の女性職員にも広げるだけでなく、老若男女や障がいの有無にとらわれない、より活き活きとした男女共同参画社会の形成に貢献したいと考えています。

せっかく築いてきた医師としてのキャリアを、人生で当たり前にかき立てるイベントによって諦めてしまうのはとてももったいないことだと思います。どんな形であれキャリアを継続していると、ステップアップの道は開けてくるはずです。そのためにどんな選択をしていくのがいいのかを、皆さんと一緒に考えていくことも当センターの大切な役割ではないかと思っています。

まだまだ始動したばかりのプロジェクトです。ぜひいろいろなご意見を、私たちにお寄せいただければ幸いです。

女性医師支援センター  
センター長 神崎裕美子



## 女性医師支援センターの歩み

厚生労働省によると、2018年の女性医師数は全体の21.9%となり、2016年から0.8ポイント増加しました。医療施設に従事する29歳以下の若い世代では、女性の割合が35.9%と発表されています。このような状況下で、厚生労働省による「医師の働き方改革」が強く押し進められ、その一環として女性医師に対する支援が掲げられました。当法人でも2018年4月に「女性医師支援センター」が設置され、様々な対策を講じて参りました。



支援には大きく分けて二つあります。一つはキャリア形成支援です。女性医師もプライベートを保ちながら生涯医療人として社会に貢献するのが理想です。当法人では短時間勤務制度や育児短時間勤務制度、乳幼児の保育制度などを充実しました。もう一つはライフイベント支援であり、女性特有の妊娠・出産前後の休暇、育児休業、介護休暇などの支援です。女性医師の皆様、是非これらの制度を最大限に利用して余裕あるライフスタイルを築かれることを期待致します。

病院長 内山 和久  
(2020年3月現在)

## 年報発刊に際して

新型コロナウイルス感染症対応で大変な中での活動年報発刊に皆様の熱意を感じ心から敬意を表します。

法人の下に設置されたセンター活動は、この2年間、神崎センター長を中心にアンケート調査等により実態を把握し、必要とされる制度の創設及び制度改善など積極的にかつ生き活きと展開され、女性医師支援に繋げていくという頼もしく、素晴らしいものです。



医師を選択した者が出産、育児、介護等でキャリアが途切れることなく仕事を続けていけるための支援は重要であり、制度の充実と共に周囲の方々の理解は不可欠です。皆様にはより関心を深めて頂きたいと思っております。

新型コロナウイルス感染症により、医師をはじめ医療関係者へ称賛の声が上がっておりますが、誰もが生き活きと働ける環境整備そして医療体制の整備が必要であり、センターの活動がそれらに繋がればと願っております。大阪医科大学の発展に繋がる女性医師支援センターの更なる躍進をご祈念申し上げます。

公益財団法人  
大阪公衆衛生協会会長  
高野 正子（外部アドバイザー）



# 第1章 女性医師支援センター事業について

## 1. 事業趣旨と事業概要

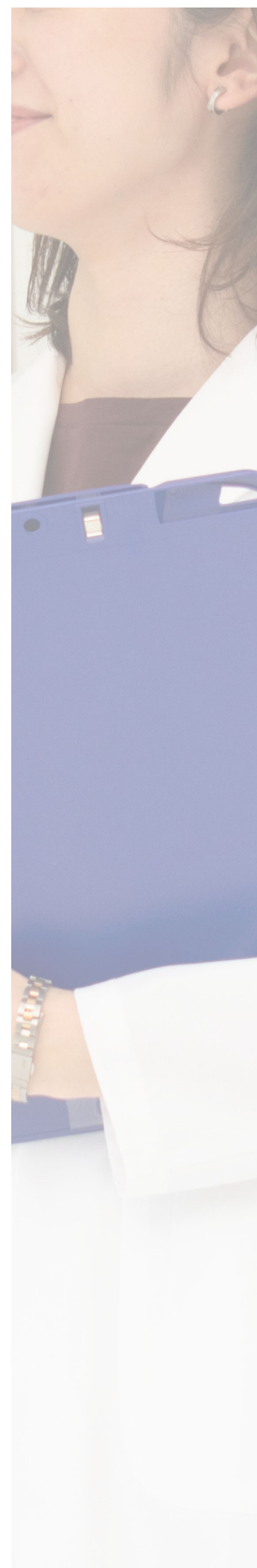
超少子高齢社会を迎え、現在の社会を維持するための労働力が不足し、放置すれば社会構造が崩壊するとの懸念から労働生産性を高めるための働き方改革が推進されています。国では働き方改革関連法を改正整備し法律に基づいた働き方改革を行っています。医師については医師法第 19 条の「応召義務」が課せられていることから労働時間の規制が難しいと考えられてきましたが、「応召義務」は医師個人ではなく医療機関に課せられているとの現代的解釈を行うことにより医師も労働者として扱われ 2024 年以降は働き方改革関連法が適用されることとなりました。

この流れを受け、国の取組みの一つでもある病院で働く女性医師等を支援するための女性医師支援センターが法人の下に開設されました。

センターの仕事は現役あるいは復職を希望する女性医師がキャリア形成を維持して生き生きと医療現場で働くことができるよう、法人や病院並びに社会が提供する様々なサービスに関する情報を収集整理して提供し、女性医師がサービスにアクセスしやすくすることです。さらに、一歩前進して情報を集約する中で、既存の制度の不具合や新たに求められるサービスを見出すことも重要な任務としています。

これまでの活動としては、センター規則第 3 条第 1 項に定められた情報の収集整理を行い、法人が開設する医療機関で医師として働く女性に、HP、リーフレット、ニュース等を通してキャリア形成を維持するのに必要な情報提供や環境の整備を促す活動を行ってきました。また、センターの運営に必要な事項を検討するため運営会議を定期的に行い、システムの企画・実施に関して必要な事項を協議・審議しています。

現時点では「医師の働き方改革の緊急的な取組み」の一つとして女性医師支援センターを開設しましたが、将来的には対象を女性医師のみならず男性医師や他の女性職員にも広げ、さらにより生き生きとした男女共同参画社会の形成に寄与したいと考えています。今後ともご高配を賜りますようお願い申し上げます。



学校法人大阪医科薬科大学 女性医師支援センター規則  
(Center for Smart Women Doctor)

(平成30年4月1日施行)

(目 的)

第1条 この規則は、学校法人大阪医科薬科大学に設置する女性医師支援センター（以下、「センター」という。）に関し必要な事項を定める。

(趣 旨)

第2条 医師の働き方改革の一環として、特に女性医師のキャリアの形成が継続されるようにきめ細やかな対策が求められている。そこで、大阪医科大学・附属病院・三島南病院・健康科学クリニック及び関西BNC T共同医療センターで働く女性医師を支援するためにセンターを置き必要な事項を定めることとする。

(業 務)

第3条 センターは、以下の情報の収集、整理及び提供を行う。

- (1) 妊娠、出産、育児等女性のライフイベントに際して必要となる制度や施設に関する情報
- (2) キャリア形成に必要な各種研修に関する情報
- (3) その他

2 センターは、女性医師支援システムの形成に必要な企画を立案し、実施する。

3 その他、理事長が必要と認める業務を行う。

(対 象)

第4条 センターの事業は当面、大阪医科大学・附属病院・三島南病院・健康科学クリニック及び関西BNC T共同医療センターに勤務する女性医師を対象として行うこととする。

(構 成)

第5条 センターに次の各号にあげる職員を置くことができる。

- (1) センター長（専任又は兼務）
- (2) 副センター長（専任又は兼務）
- (3) その他理事長が必要と認めた者

2 センター長は女性である医師とし、理事長が委嘱する。

3 副センター長は性別を問わず医師とし、理事長が委嘱する。

4 センターの職員は理事長が委嘱する。その任期は2年とし、再任を妨げない。

(運営会議)

第6条 センターの運営に必要な事項を検討するためにセンター運営会議を置く。

2 センター運営会議について必要な事項は別に定める。

(事 務)

第7条 センターの事務は、総務部人事企画研修課が行う。

(その他)

第8条 この規則に定めるものの他、センターに関して必要な事項は、別に定める。

(改 廃)

第9条 この規則の改廃は、理事会が行う。

附 則

この改正は平成30年4月10日から施行し、平成30年4月1日から適用する。

## 2. 構成員

構成員は、大学病院で医療に従事する女性医師を中心に病院長や医師会関係者に加え、アドバイザーとして、保健所長などを歴任され現在、公益財団法人大阪公衆衛生協会の会長である高野正子先生をお迎えしています。メンバーは内科系、外科系、小児科及び中央検査部から選ばれた女性医師です。また、法人役員や事務局のメンバーを含め11名の医師、職員、役員の協働体制となっています。センター長には神崎裕美子医師、副センター長には喜田照代医師が委嘱されています。

<委嘱期間：2018年4月～2020年3月>

|          | 氏名     | 部署                 | 職位   | 担当委員会       |
|----------|--------|--------------------|------|-------------|
| センター長    | 神崎 裕美子 | 内科学Ⅲ               | 講師   | 運営会議・運営推進会議 |
| 副センター長   | 喜田 照代  | 眼科学                | 講師   | 運営会議・運営推進会議 |
| メンバー     | 松村 洋子  | 中央検査部              | 講師   | 運営会議・運営推進会議 |
| //       | 岡本 奈美  | 小児科学               | 助教   | 運営会議・運営推進会議 |
| //       | 神吉 佐智子 | 胸部外科学              | 助教   | 運営会議・運営推進会議 |
| //       | 松尾 純子  | 眼科学                | 助教   | 運営会議・運営推進会議 |
| //       | 内山 和久  | 病院長                | 教授   | 運営会議        |
| //       | 米田 博   | 神経精神医学             | 教授   | 運営会議        |
| // (事務局) | 赤田 清澄  | 人事企画研修課            | 課長   | 運営会議・運営推進会議 |
| // (事務局) | 生田 統子  | 人事企画研修課            | 事務員  | 運営会議・運営推進会議 |
| メンバー     | 佐野 浩一  | 法人                 | 副理事長 | 運営会議・運営推進会議 |
| 外部アドバイザー | 高野 正子  | 公益財団法人<br>大阪公衆衛生協会 | 会長   | 運営会議        |

※外部アドバイザーは運営会議の構成員としてご出席いただいています。



### 3. 会議

センターの規則に基づく運営会議は年間3～4回、運営推進会議はほぼ毎月1回開催してきましたが、令和元年度末は COVID-19 の猖獗により予定していた会議の中止を余儀なくされました。運営会議ではセンターの活動の方針を討論することとし、運営推進会議ではその方針に基づく具体的な活動を検討しています。

#### 1) 運営会議

運営会議では、運営推進会議での報告や懸案事項について、病院長及び診療科長の先生方のご意見、そして外部アドバイザーの先生によるアドバイスをいただくことで、女性医師支援の方針を検討するのみでなく、男女共同参画を目指したバランスのとれた協議を行うことができます。今後もイクボスの先生方や女性医師として深い経験をお持ちの外部アドバイザーの意見を聴きながら、さらなる活動の活性化を行いたいと考えます。

|     | 開催日         | 主な取り決め事項                               |
|-----|-------------|----------------------------------------|
| 第1回 | 2018年 5月14日 | 自己紹介、会議の運営方法、年間活動計画など                  |
| 第2回 | 2018年 8月 1日 | センター HP 開設の写真撮影、学報掲載                   |
| 第3回 | 2018年12月 4日 | 医学部生がオブザーバーとして参加<br>センター開設イベントの計画について  |
| 第4回 | 2019年 3月22日 | 第1回交流会について                             |
| 第5回 | 2019年12月 4日 | 開設一周年記念講演会について<br>短時間正職員制度の見直しについて     |
| 第6回 | 2019年10月25日 | ベビーシッター支援事業への加入について<br>各診療科訪問相談について    |
| 第7回 | 2020年 1月24日 | 診療科長会アンケートの集計結果について<br>第2回交流会の周知方法について |

## 2) 運営推進会議

運営推進会議では、実際のワークライフバランスの見直しとして、運営会議で決定した方針に基づき、アンケートによる実態調査、他大学の施設訪問、学内交流会での情報収集などを行いました。また、女性医師のスムーズな職場復帰を支援するために、短時間勤務制度の改定や一時保育の開設を促したほか、外部講師を招いた講演会の開催など、メンバー間で意見を出し合うことで支援活動を広げることができました。今後は、ダイバーシティを視野に入れて、さらに環境を充実させることができればと思います。

|      | 開催日         | 主な取り決め事項                              |
|------|-------------|---------------------------------------|
| 第1回  | 2018年 6月 5日 | HP 開設準備、実態調査の実施について                   |
| 第2回  | 2018年 7月 3日 | スマートニュース創刊号について<br>アンケート（実態調査）の設問について |
| 第3回  | 2018年 9月 5日 | 関西医大訪問について<br>アンケートの集計について            |
| 第4回  | 2018年10月25日 | レジデントの短時間制度について                       |
| 第5回  | 2019年 2月 5日 | 第1回交流会について                            |
| 第6回  | 2019年 4月24日 | 一時保育預かり制度について                         |
| 第7回  | 2019年 5月24日 | 第1回交流会について<br>開設一周年記念講演会について          |
| 第8回  | 2019年 8月30日 | 開設一周年記念講演会について<br>ベビーシッター支援事業への加入について |
| 第9回  | 2019年 9月24日 | 開設一周年記念講演会について<br>一時保育預かり制度の内容見直しについて |
| 第10回 | 2019年12月20日 | 第2回交流会について<br>診療科への相談訪問について           |
| 第11回 | 2020年 3月17日 | 次年度の活動計画について                          |

## 第2章 主な活動報告

センターの最も重要な活動は、女性医師がキャリアを形成維持し、さらに発展させるために必要な制度や施設などの情報を収集整理し、それを求める女性医師に届けることです。インターネット上の情報だけでなく医局を対象としたアンケート調査をもとに院内や社会で整備されている制度や施設の情報を知ること、また、女性医師が何を求めているかを知るために、大学病院で働く女性医師を対象にしたアンケート調査や交流会での意見交換を通して、率直な声を聞き出すことにしました。

このようにして得た情報を女性医師にくまなく届けるには、女性医師支援センターの存在を知ってもらわなければなりません。そこで、HP の立ち上げ、研修医などに配布するリーフレットの発行、月刊紙スマートニュースの配布を行い情報を発信してきました。また、外部からのアンケート調査への回答、同窓会誌への記事掲載協力などを行うことで、対外的にもセンターの活動をアピールしてきました。さらに、活動の中で明らかになった制度や施設の課題を担当部署に伝えることにより規程の改正や施設の利用条件の変更などを促すことができました。

センターの過去 2 年間の主な活動は下表の通りです。

|            |                                                                                                                                                                      |
|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2018 年 4 月 | ・ 女性医師支援センター開設                                                                                                                                                       |
| 5 月        | ・ 第 1 回女性医師支援センター運営会議開催                                                                                                                                              |
| 6 月        | ・ 第 1 回女性医師運営推進会議開催                                                                                                                                                  |
| 7 月        | ・ 学内アンケート（実態調査）実施（女性医師、診療科長宛）<br>・ スマートニュース創刊                                                                                                                        |
| 8 月        | ・ 学報 117 号に掲載（センターの開設）<br>・ 学内アンケート（実態調査）集計結果報告                                                                                                                      |
| 10 月       | ・ HP の開設                                                                                                                                                             |
| 11 月       | ・ 他大学との交流会（関西医科大学訪問）<br>・ ヒアリング（第 1 回）実施（病院建替えに関する要望）<br>・ 全国医学部長病院長会議キャリア支援連絡会議全国会議（神崎センター長出席）<br>・ 厚労省「医療勤務環境に関するアンケート」回答<br>・ 全国医学部長病院長会議「女性医師等キャリア支援策に関する実態調査」回答 |



|          |                                                                                                                                                               |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 12月      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒアリング（第2回）実施（病院建替えに関する要望）</li> <li>・大阪医科大学医師会座談会（神崎センター長出席）</li> </ul>                                                |
| 2019年 1月 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・リーフレット発行</li> <li>・医療連携室ニュース「みずき」掲載</li> </ul>                                                                        |
| 2月       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本医師会事業女性医師支援懇談会（神崎センター長出席）</li> <li>・全国医学部長病院長会議キャリア支援連絡協議会（神崎センター長出席）</li> <li>・全国ダイバーシティネットワーク組織・シンポジウム</li> </ul> |
| 3月       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本学術会議全国ダイバーシティネットワークアンケート回答</li> </ul>                                                                               |
| 4月       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・レジデントの短時間勤務制度施行</li> <li>・高槻市認定子ども園訪問</li> </ul>                                                                      |
| 5月       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本医師会「女性医師支援に関するアンケート調査」回答</li> <li>・仁泉会ニュース掲載</li> </ul>                                                             |
| 6月       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・バンビ保育室一時保育開始</li> <li>・第1回交流会開催</li> <li>・臨床研修プログラム説明会（神崎センター長出席）</li> </ul>                                          |
| 9月       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・短時間正職員制度の改正</li> <li>・大阪府医師会「院内保育・病児・病後児施設に関するアンケート」回答</li> <li>・学報121号に掲載（第1回交流会）</li> </ul>                         |
| 10月      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・病児保育事業所訪問（NPO法人ノーベル）</li> </ul>                                                                                       |
| 11月      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・開設一周年記念講演会開催（講師：片岡仁美先生）</li> <li>・大学HPに掲載（一周年記念講演会）</li> </ul>                                                        |
| 12月      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本医師会「令和元年度女性医師支援担当者連絡会」（神崎センター長出席）</li> </ul>                                                                        |
| 2020年 1月 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学内診療科長宛アンケート調査</li> <li>・ベビーシッター派遣事業割引券導入</li> </ul>                                                                  |
| 2月       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回交流会開催</li> </ul>                                                                                                   |
| 3月       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・診療科への相談訪問</li> <li>・マタニティレンタル白衣開始</li> </ul>                                                                          |

# 1. 情報の収集

情報収集はインターネット、イントラネット上にある様々な制度やアンケート調査に加え、聴き取りにて行いました。

## 1) 各種制度の調査

女性医師のキャリア形成に関係すると考えられる制度を調査し、課題発見の材料としました。収集した主な制度は以下のとおりです。

- ①ライフイベントに利用できる制度
- ②短時間勤務制度
- ③通常保育制度
- ④一時預かり保育制度
- ⑤復職支援プログラム制度
- ⑥ベビーシッター派遣事業割引制度

## 2) 女性医師等へのアンケート調査

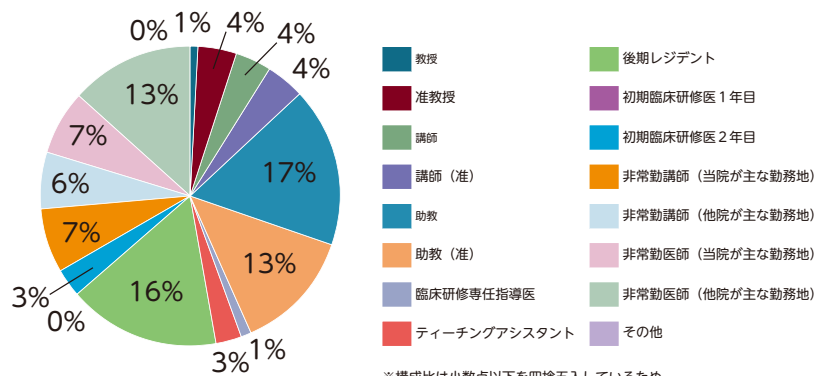
センター開設後の最初の活動として診療に従事する女性医師のニーズを把握するために、以下の要領で実態調査を実施しました。

- |         |                                                    |
|---------|----------------------------------------------------|
| 1. 目的   | 女性医師のニーズを把握し、女性医師支援の仕組みを構築する一助とする                  |
| 2. 対象者  | 附属病院、三島南病院、健康科学クリニックで診療に従事する女性医師<br>*非常勤医師、非常勤講師含む |
| 3. 期間   | 平成 30 年 7 月 10 日（火）～ 20 日（金）                       |
| 4. 方法   | メール配信（グーグルフォームにて実施）                                |
| 5. 回収状況 | 151 人中 73 人回答（48%）                                 |

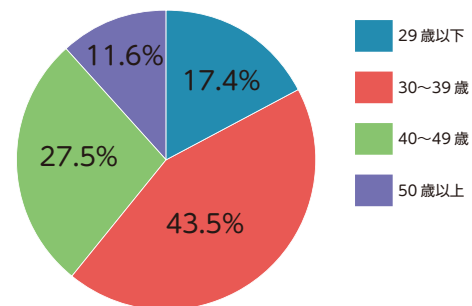
# 女性医師編

## I 基本属性

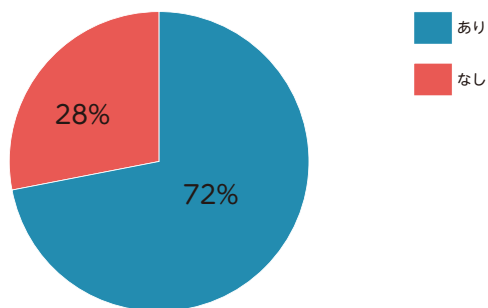
### 職位



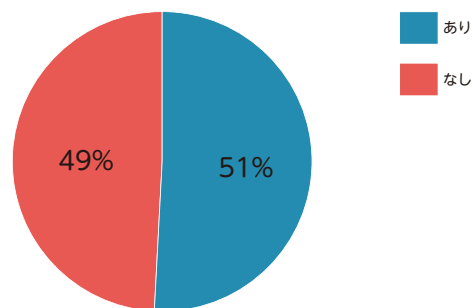
### 年齢



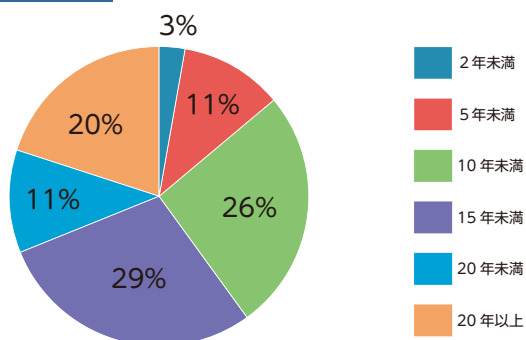
### 配偶者の有無



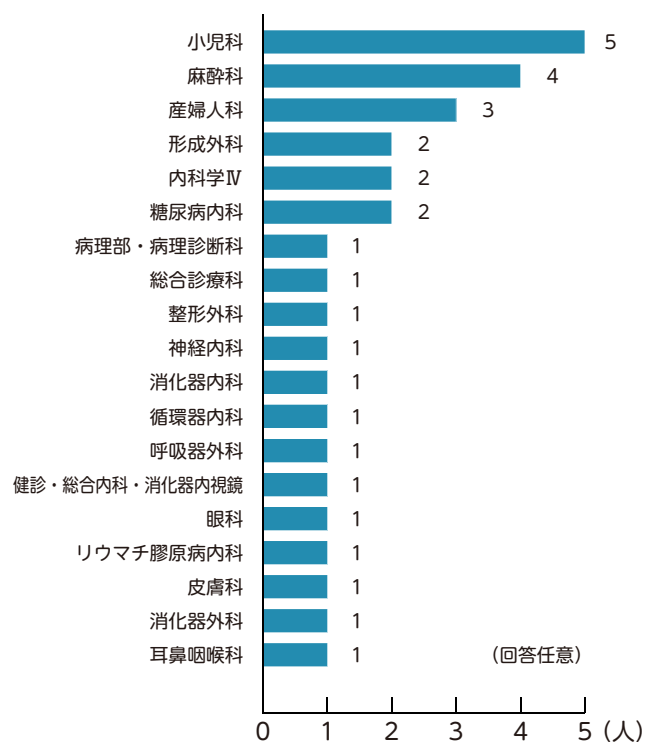
### 子どもの有無



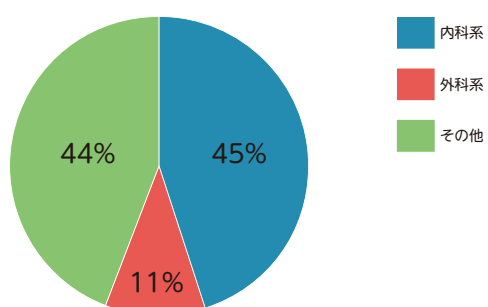
### 卒業年数



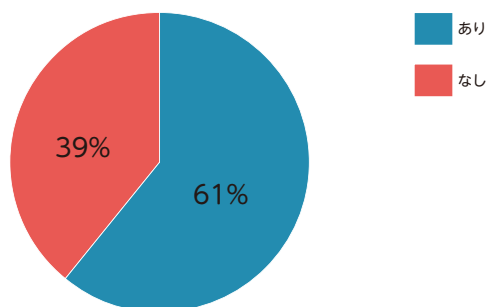
### 診療科目



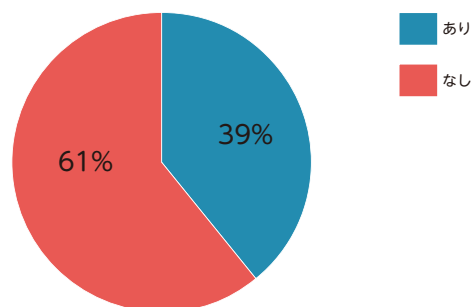
### 所属



## 専門医資格

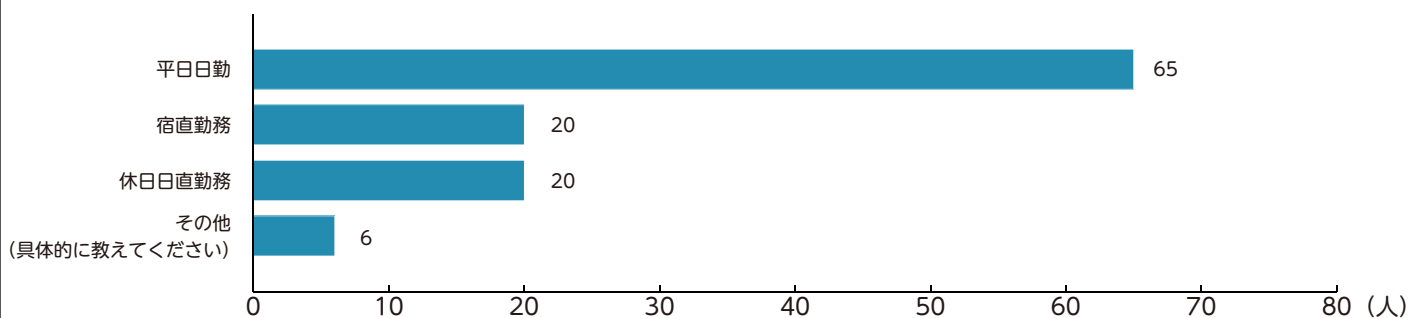


## 学位（博士）

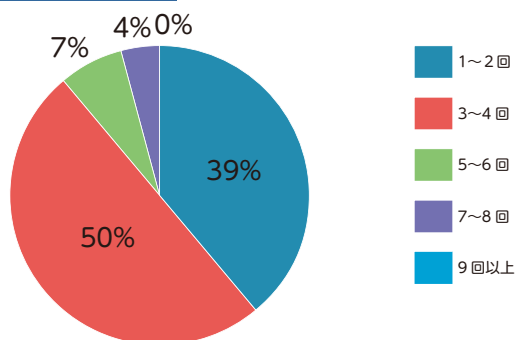


## Ⅱ 勤務形態

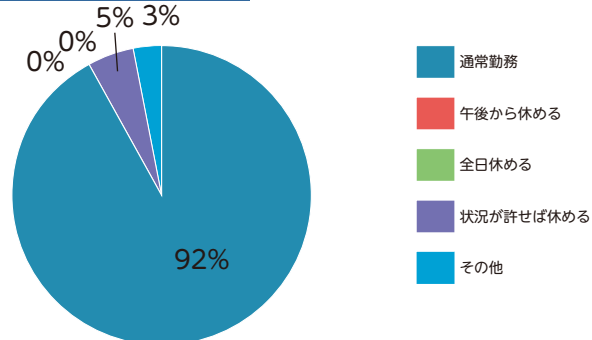
### 勤務状況



### 当直回数／月



### 当直翌日勤務状況



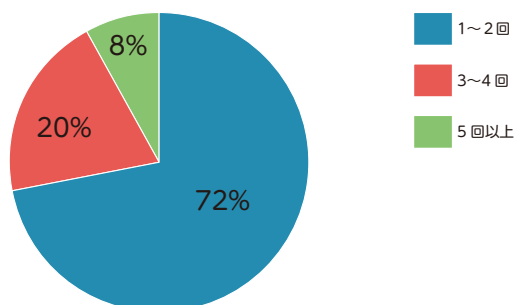
各所属部署の当直の決まりなどがあれば教えてください。（22件の回答あり）

- ・年齢、育児などの理由で免除する。
- ・小さな子供がいる場合は当直を免除する。
- ・45歳で当直免除、休日日勤のみ50歳で日当直を免除する。
- ・講師（准）以上当直を免除する。
- ・妊婦は当直を免除する。

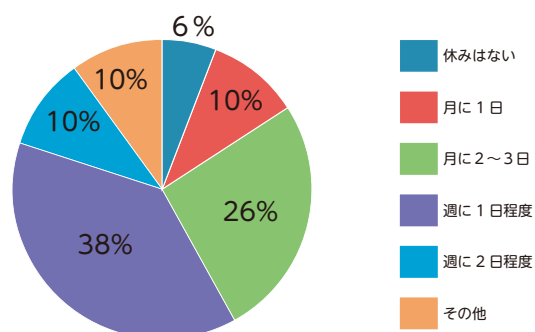
など、同様のご意見が複数ありました。



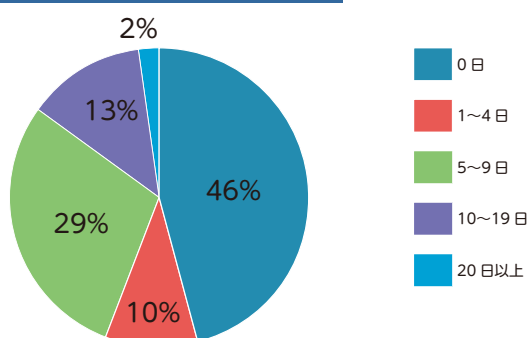
休日 日勤回数／月



完全休日の日数／月

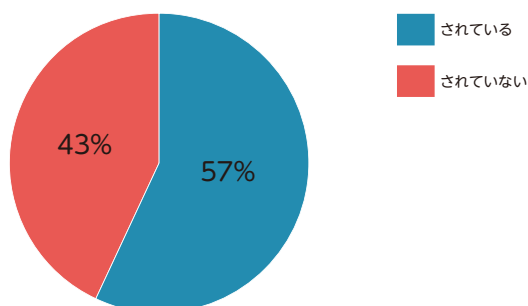


有給休暇の取得日数／月



### Ⅲ 職場環境

女性医師支援の取組み

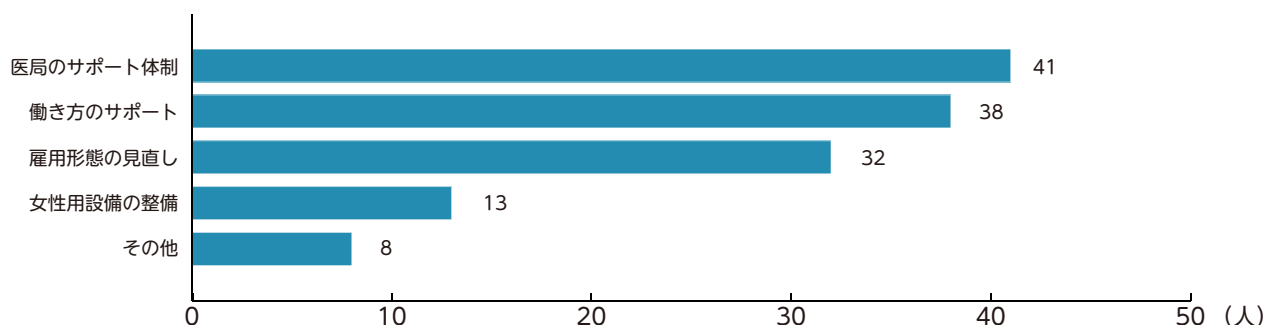


上記で「されている」を選択された場合、具体的にご記入ください。

育児に関してのご意見 13 件、その他 17 件（以下抜粋）

- ・妊婦や育児の場合は当直を免除する。
- ・子供の発熱など急な休みの場合は他の人が可能な限り交代してくれる。
- ・17 時には帰宅できる。
- ・時短勤務が可能である。
- ・関連病院への出向の際に家庭環境を考慮してくれる。
- ・育児中の医師のシフト勤務の調整設定がフレキシブルである。 など

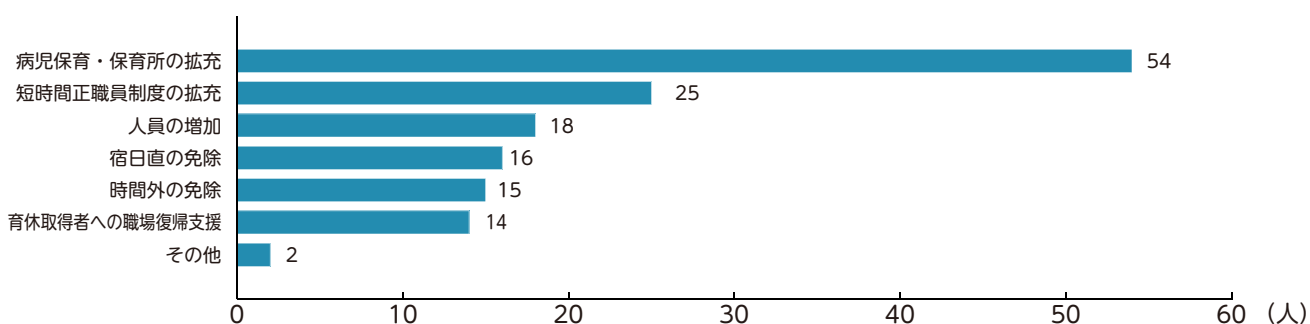
## 現在の職場において必要なサポート体制は何でしょうか。



### その他のご意見（抜粋及び要約）

- ・産後の女性医師だけでなく、男性医師も含めた負担軽減策をたてること。
- ・復職プログラムの設定を教えて欲しい。
- ・在宅勤務制度を作って欲しい。
- ・個々の抱える問題点が環境により大きく変わるため、それぞれに見合ったサポート体制を図る必要がある。先ず問題点を抽出し、解決策を講じている医局の方法を共有するなど。
- ・チーム医療を継続するための策として時間外や当直代を優遇する。
- ・保育所の受入れを柔軟にする。(週1からでも可能に)

## 女性医師を支援するための最も大切な制度や仕組みは何でしょうか。



### その他のご意見（抜粋及び要約）

- ・特に病児保育へのサポート体制が必要である。
- ・院内の保育の病児預かりをもっと簡単なシステムにする。
- ・保育所の利用を週1,2日からも可にする。(働き方のバリエーションが増え産後復帰がし易くなる)
- ・バンビ保育所での一時預かり制度を作る。(注：2019年6月より開始)

専門医資格や学位（博士）の取得に対し、どのような支援が必要でしょうか。

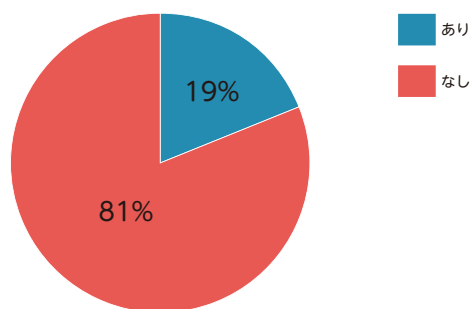
ご意見（抜粋及び要約）

- ・短時間正職員制度の充実を図る。（注：2019年10月改正）
- ・学位に関しては研究に専念できる時間の確保をする。（4年間で取得できる指導体制、職場体制）
- ・本人次第であり特に支援は不要ではないか。
- ・産休、育休復帰しやすい環境を作る。
- ・医局のサポート体制が必要である。  
専門医資格は保育所（病児保育あり）の病院の常勤医として勤務することができ取得できた。（医局から探してもらえた）  
学位は子供が小さいと研究ができない、小学生になってから研究を開始した。  
（医局に相談し時間の調整をしてもらえた）
- ・新専門医資格取得に対応した期間延長や出向先の病院の勤務形態の情報取得が必要である。
- ・仕事の分担による自己研鑽時間の確保が必要である。

学位取得に際しては、教授や上位職医師の理解、また医局の協力が必要とのご意見が多く寄せられました。

## Ⅳ 講習会や勉強会などのイベント

### 講演会などへの参加経験



### 医師会、学会などが主催する女性医師支援に関する講演会などへの参加経験

ご意見（抜粋及び要約）

- ・近隣の医師会（高槻市医師会や北摂四医師会など）
- ・大阪府医師会のブロック別の男女共同参画
- ・学会主催のなでしこの会
- ・学会の女性医師支援ワーキンググループ など

## 女性医師支援に関するイベントについて

### ご意見（抜粋及び要約）

- ・講演会
- ・座談会
- ・勉強会
- ・困りごと相談会
- ・個別相談会
- ・シンポジウム（男性医師にも出産育児介護の現状を知ってもらえるような会）
- ・親睦会（若い先生と中堅クラスの先生方との交流が気軽にできるイベント）
- ・ワークライフバランス（妊娠、出産、復帰）
- ・キャリアパスやワークライフバランスについての学び、自分にあった働き方を考える会

## 女性医師支援センターに望むこと

### ご意見（抜粋及び要約）

- ・他科の状況を知りたい。
- ・当院の現状報告、他院での取組み紹介をしてほしい。また出産育児以外で困っている（不妊や介護）ことなどでのサポートも検討して欲しい。
- ・ベビーシッター情報や保育所情報を教えて欲しい。
- ・ロールモデルを紹介して欲しい。
- ・高槻の保育園や病児保育の情報。また子供を持つ男性医師への支援を知りたい。
- ・センターへコンタクトの取りやすい環境。また他科の状況や情報を分かり易く発信して欲しい。
- ・センターの存在や窓口を周知し、困っている医師に情報が届くようにする。
- ・よい職場環境づくり。（妊婦に対し、負担経験がなされるように取り組んでいく）
- ・キャリアカウンセリングを受けられるシステムがあるとよい。
- ・外科志望の女性医師に関する情報を知りたい。

## アンケートから分かったこと

今回のアンケートを通し女性医師が職場で抱えている問題点や改善すべき点をいくつか把握することができました。

妊娠中や育児中は当直免除の許可及びシフト勤務に応じたりする診療科が過半数を占めるものの、実際取得する際にはストレスが生じる場合もあるとのことでした。センターとしては支援制度を今後も HP やスマートニュースなどで案内し、引き続き各診療科へご協力をお願いしていきたいと思います。



### 3) 診療科へのアンケート調査①

各診療科における女性医師支援の仕組みに関する情報を集約して女性医師に提供するため以下の要領で実態調査を実施しました。

1. 目的 各診療科における女性医師支援の仕組みに関する情報を集約して女性医師に提供するため
2. 対象者 診療科及びセンターの所属長
3. 期間 平成30年7月10日(火)～20日(金)
4. 方法 アンケートをメールで配信
5. 回収状況 47 診療科、センターなど(回収率 100%)

平成30年7月10日

診療科長 各位  
センター長 各位

女性医師支援センター  
センター長 神崎 裕美子

診療科等における女性医師支援の実態調査のお願い

医師の働き方改革の一環として、法人直轄の「女性医師支援センター」が4月に発足しました。今後、女性研究者や女性職員にも対象を広げ、更には老若男女共同参画社会に資する体制作りのきっかけとなるものです。

今回、女性医師支援に関する各診療科または各センター等の現状について、下記の内容で実態調査を実施することとなりましたので、先生方におかれましては業務御多忙とは存じますが、ご協力をいただきたくお願い申し上げます。

尚、実態調査の結果につきましては、後日ご報告いたします。

記

1. 調査目的 各診療科における女性医師支援の仕組みに関する情報を集約して女性医師に提供するため
2. 調査対象者 診療科の科長、センター長  
(責任者もしくはそれに準ずる方が回答して下さい。)
3. 調査期間 平成30年7月10日(火)～20日(金)
4. 調査方法 添付のアンケート調査を記入して以下の方法で提出して下さい。  
Email : smart@osaka-med.ac.jp  
FAX : 072-684-6729  
メールボックス : 人事企画研修課  
(女性医師支援センター)
5. 照会先 総務部人事企画研修課 内線2818  
Email : smart@osaka-med.ac.jp

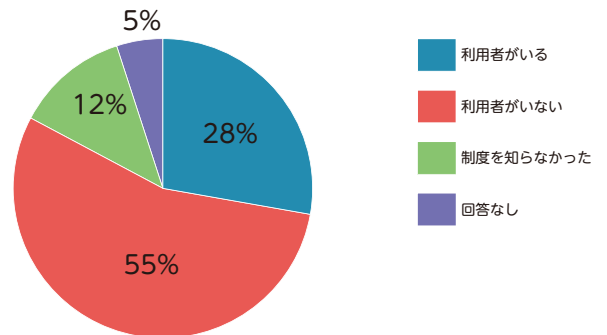
以上

## 診療科長編

アンケートにご回答いただきありがとうございました。  
各診療科から頂いたご意見を整理しながら、今後の活動へと繋げて参ります。  
引き続きご協力を宜しくお願い申し上げます。

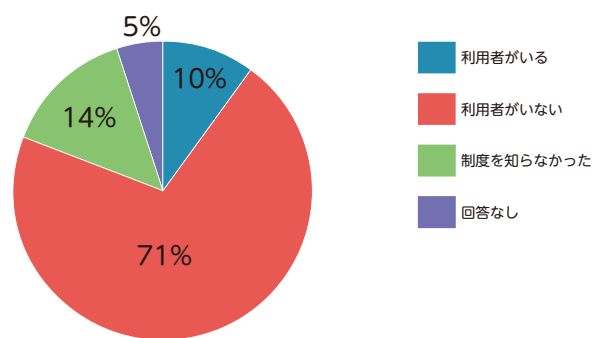
### Q1 短時間勤務制度について

| 単位 (人) |           |    |
|--------|-----------|----|
| Q1     | 利用者がいる    | 4  |
|        | 利用者がいない   | 30 |
|        | 制度を知らなかった | 6  |
|        | 回答なし      | 2  |
|        |           | 42 |



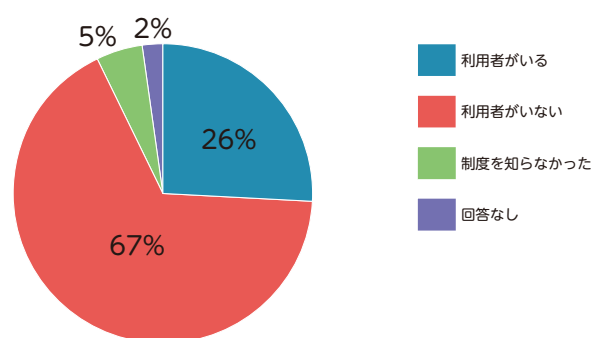
### Q2 非常勤雇用について

| 単位 (人) |           |    |
|--------|-----------|----|
| Q2     | 利用者がいる    | 12 |
|        | 利用者がいない   | 23 |
|        | 制度を知らなかった | 5  |
|        | 回答なし      | 2  |
|        |           | 42 |



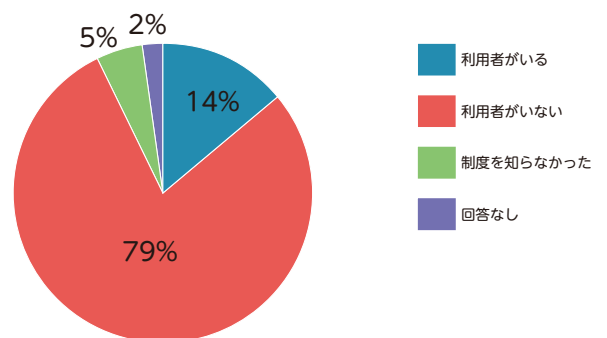
### Q3 産休付与について

| 単位 (人) |           |    |
|--------|-----------|----|
| Q3     | 利用者がいる    | 11 |
|        | 利用者がいない   | 28 |
|        | 制度を知らなかった | 2  |
|        | 回答なし      | 1  |
|        |           | 42 |



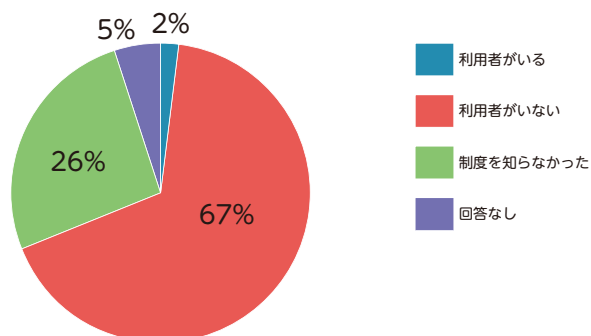
### Q4 育休付与について

| 単位 (人) |           |    |
|--------|-----------|----|
| Q4     | 利用者がいる    | 6  |
|        | 利用者がいない   | 33 |
|        | 制度を知らなかった | 2  |
|        | 回答なし      | 1  |
|        |           | 42 |



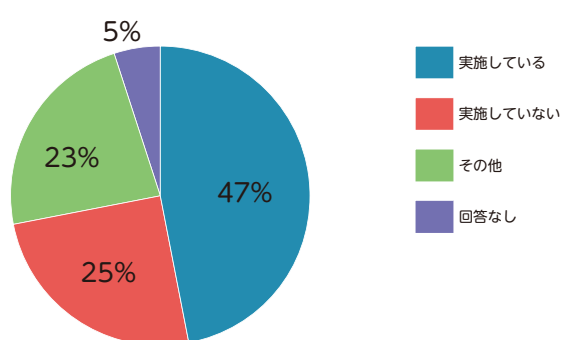
### Q5 介護休業付与について

| 単位（人） |           |    |
|-------|-----------|----|
| Q5    | 利用者がいる    | 1  |
|       | 利用者がいない   | 28 |
|       | 制度を知らなかった | 11 |
|       | 回答なし      | 2  |
|       |           | 42 |



### Q6 当直免除について

| 単位（人） |         |    |
|-------|---------|----|
| Q6    | 実施している  | 19 |
|       | 実施していない | 10 |
|       | その他     | 9  |
|       | 回答なし    | 2  |
|       |         | 40 |

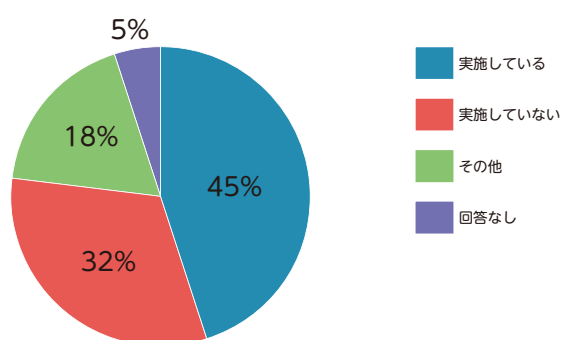


#### 「その他」コメント

- ・妊産婦や育児などの場合は免除する。
- ・45 歳以上は免除する。
- ・免除はないが回数を軽減している。
- ・面談を通して希望を聞いている。

### Q7 休日日直免除について

| 単位（人） |         |    |
|-------|---------|----|
| Q7    | 実施している  | 18 |
|       | 実施していない | 13 |
|       | その他     | 7  |
|       | 回答なし    | 2  |
|       |         | 40 |

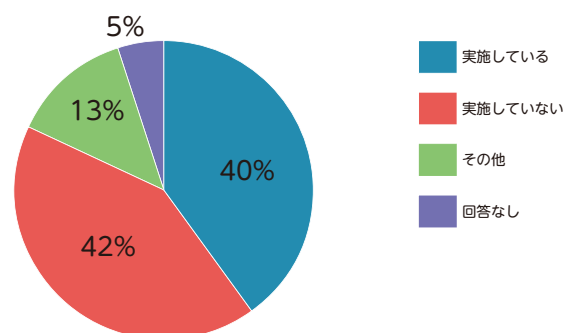


#### 「その他」コメント

- ・妊婦、産休後、育休後などは免除する。
- ・年齢と家庭の事情による。
- ・免除はないが回数を軽減している。
- ・面談を通して希望を聞いている。

## Q8 時間外勤務免除について

| 単位 (人) |         |    |
|--------|---------|----|
| Q8     | 実施している  | 16 |
|        | 実施していない | 17 |
|        | その他     | 5  |
|        | 回答なし    | 2  |
|        |         | 40 |

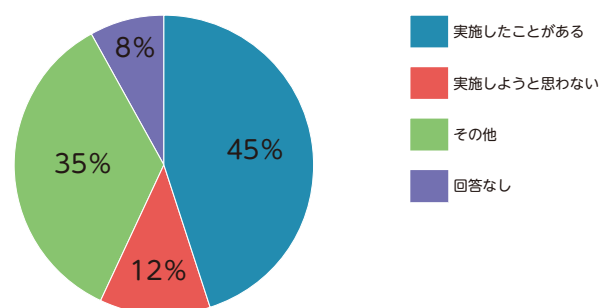


### 「その他」コメント

- ・ 妊婦小さな子供がいる場合は 17 時以降免除している。
- ・ 必要に応じてサポートしている。
- ・ 家庭のある女性医師に対して時間外勤務は少ない。

## Q9 他病院への異動について

| 単位 (人) |            |    |
|--------|------------|----|
| Q9     | 実施したことがある  | 18 |
|        | 実施しようと思わない | 5  |
|        | その他        | 14 |
|        | 回答なし       | 3  |
|        |            | 40 |

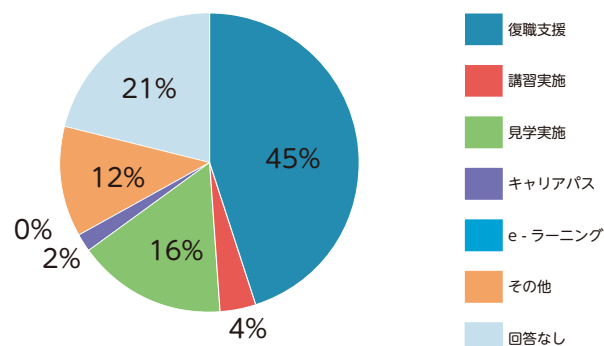


### 「その他」コメント

- ・ 育児中の場合は当直のない病院を考慮している。
- ・ 保育所完備、当直なし、時間外なしを考える。

## Q10 プログラムについて

| 単位 (人) |           |    |
|--------|-----------|----|
| Q10    | 復職支援      | 23 |
|        | 講習実施      | 2  |
|        | 見学実施      | 8  |
|        | キャリアパス    | 1  |
|        | e - ラーニング | 0  |
|        | その他       | 6  |
|        | 回答なし      | 11 |
|        |           | 51 |



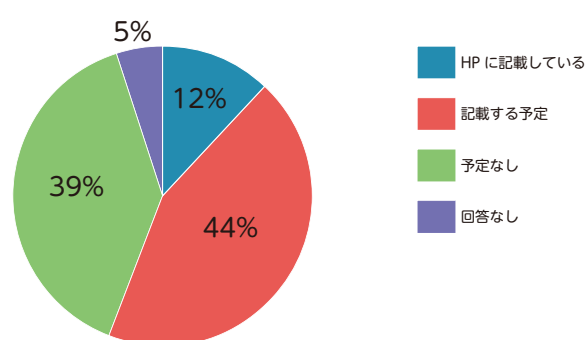
### 「その他」コメント

- ・ 特に定めてはいないが、非常勤医師でも復職相談・見学など受入れている。
- ・ 出産後の復職に関しては本人と相談の上、時期、雇用形態、勤務内容を決定している。
- ・ 復職時に事前のヒアリングを実施し無理のないよう研修プログラムを作成している。



## Q11 ホームページについて

| 単位（人） |           |    |
|-------|-----------|----|
| Q11   | HPに記載している | 5  |
|       | 記載する予定    | 18 |
|       | 予定なし      | 16 |
|       | 回答なし      | 2  |
|       |           | 41 |

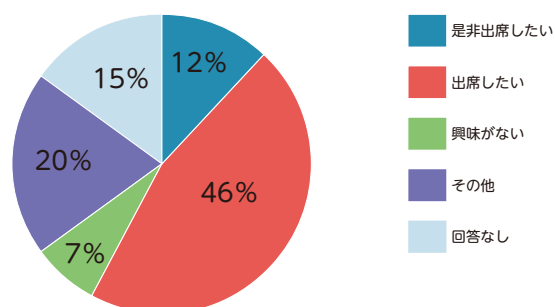


## Q12 復職支援を希望される対象者について

現在復職しているとの回答が数件ありました

## Q13 食事会・座談会について

| 単位（人） |         |    |
|-------|---------|----|
| Q13   | 是非出席したい | 5  |
|       | 出席したい   | 19 |
|       | 興味がない   | 3  |
|       | その他     | 8  |
|       | 回答なし    | 6  |
|       |         | 41 |



### 「その他」コメント

- ・医局員に出席させたい。
- ・日程、テーマ次第である。
- ・興味がないわけではないが、女性ばかりの座談会となればなんとなく出席しにくい。
- ・興味はないが、職務上関心はある。必要とされれば出席の努力を惜しまない。

## Q14 センターに望むこと（自由記述欄）

### 自由記述（抜粋及び要約）

- ・病児保育の制度を整えるべきである。男性医師でも預けられるようにすべきである。
- ・時短勤務、保育所の充実、他の部署の取り組みを教えて欲しい。また女性医師の職場環境への要望があれば教えて欲しい。
- ・産休、育休になっても問題のない人数体制が必要である。（スタッフの補充）  
労働比重に応じた明確な給与体制が必要である。（男性医師の疲弊）
- ・女性医師の辿ったコースを調査する。（今後の支援の参考になる）
- ・常勤男性医師、常勤独身女性医師への業務負担増も考慮し、バランスのとれた支援が必要である。
- ・キャリア形成の上、本人の希望のヒアリングをしっかりと行うべきである。
- ・院内で年長まで預かってくれる病児保育対応の保育所があればよい。
- ・在職及び復職を希望する学内、学外女性医師へ①短時間雇用に関する制度②保育室（病児保育含む）  
③事務職員クランク制度④チーム医療に関する取組み⑤出産、育児、介護時の当直免除制度⑥他職種への勤務異動⑦関連病院との協働連携⑧カスタマイズの復職トレーニングを案内する。
- ・女性医師の長期休暇、臨時休暇の際に、適時の医師派遣をお願いできるシステム作りをお願いしたい。

## 4) 診療科へのアンケート調査②

センターを開設してから2年が経過し、これまでの取組みについてお知らせすると同時に支援体制を構築しさまざまな取組みを円滑に進めるため、診療科長宛にアンケートを実施しました。また、診療科長からいただいたご意見、ご質問にはセンター員が直接訪問して説明させていただきました。

令和2年1月9日

診療科長 各位  
センター長 各位

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃は女性医師支援センターの運営にご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当センターは平成30年春に開設して以来2年目を迎えようとしておりこれまでの活動にスマートニュースやHPなどでご案内してまいりました。

つきましては、今後も支援体制を構築し、さまざまな取組みを円滑に進めるため、下記のとおりアンケートを実施させていただきます。診療業務でお忙しいとは存じますが、何卒ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

### 記

- 対象者 : 所属長（診療科長、センター長）  
実施期間 : 令和2年1月9日（木）～17日（金）  
調査方法 : 添付のアンケートにご回答をお願いします。  
提出方法 : 以下の方法をお願いします。
- ・ メール（[smart@osaka-med.ac.jp](mailto:smart@osaka-med.ac.jp)）
  - ・ FAX（072-684-6729）
  - ・ 直接持参（人事企画研修課：本館図書館棟1階）

以上

お問合せ先  
女性医師支援センター事務局  
（内線 2818）

## 女性医師支援に関するアンケート調査

(以下の設問で該当する答えを○で囲んでください)

| 診療科・センター名 | 回答者名 |
|-----------|------|
|           |      |

- ① レジデントにも短時間勤務制度が導入されたことをご存知ですか？

はい                      いいえ

- ② 短時間勤務制度を利用する医師は定員外となることをご存知ですか？

はい                      いいえ

- ③ 短時間勤務制度を利用していても院外研修（兼業）が可能であることをご存知ですか？

はい                      いいえ

- ④ 本学の保育室では夜間保育や病児保育を行っていることをご存知ですか？

はい                      いいえ

- ⑤ 院内保育所・短時間勤務制度などに関する女性医師支援センターからの説明（15分程度）をご希望されますか？

はい                      いいえ

- ⑥ その他（ご意見など）

|  |
|--|
|  |
|--|

- ※ ⑤の設問で「はい」を選択された診療科につきましては、後日センター員がお伺いいたします。日時はあらためてご相談させていただきますので、ご担当者及びご連絡先をお知らせください。

|           |  |
|-----------|--|
| ご担当者      |  |
| ご連絡先（メール） |  |
| お電話（PHS）  |  |

ご協力ありがとうございました  
 問合せ先：女性医師支援センター  
 事務局（内 2818）

2 回目のアンケート結果は診療科長会（2019 年 2 月開催）にてお知らせしました。また制度の内容などについて説明をご希望された診療科へは後日センター員が訪問し、お話しをさせていただきました。お伺いした中で短時間勤務制度についてのご質問が多く寄せられました。女性医師が復職するための制度の一つとして今後もセンターの HP やスマートニュースなどで情報発信をして参りたいと思います。

#### 女性医師支援に関するアンケート調査結果（32 診療科宛 期間：2020 年 1 月 9 日～1 月 17 日）

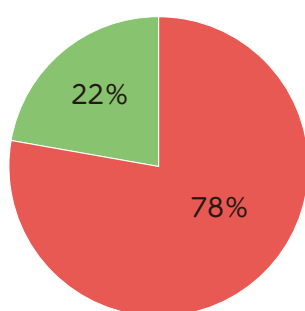
（回収率 100%）

|    | 設 問                                                 |
|----|-----------------------------------------------------|
| Q1 | レジデントにも短時間勤務制度が導入されたことをご存知ですか？                      |
| Q2 | 短時間勤務制度を利用する医師は定員外となることをご存知ですか？                     |
| Q3 | 短時間勤務制度を利用していても院外研修（兼業）が可能であることをご存知ですか？             |
| Q4 | 本学の保育室では夜間保育や病児保育を行っていることをご存知ですか？                   |
| Q5 | 院外保育所・短時間勤務制度などに関しての女性医師支援センターの説明（15 分程度）をご希望されますか？ |

|                        | Q1             | Q2            | Q3   | Q4                      |
|------------------------|----------------|---------------|------|-------------------------|
| 設問<br>回答               | レジデント<br>短時間制度 | 短時間勤務<br>の定員外 | 院外研修 | 保育室<br>(夜間保育)<br>(病児保育) |
| 知っている                  | 25             | 17            | 23   | 24                      |
| 知らなかった                 | 7              | 15            | 8    | 7                       |
| 無回答                    | 0              | 0             | 1    | 1                       |
| 「知っている」と<br>回答の診療科 (%) | 78             | 53            | 71   | 75                      |

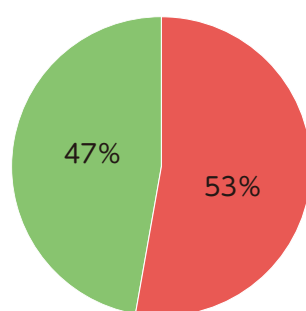
|                       | Q5    |
|-----------------------|-------|
| 設問<br>回答              | 制度の説明 |
| 説明を希望する               | 6     |
| 説明を希望しない              | 26    |
| 無回答                   | 0     |
| 「希望する」と<br>回答の診療科 (%) | 18    |

Q1 レジデント短時間制度



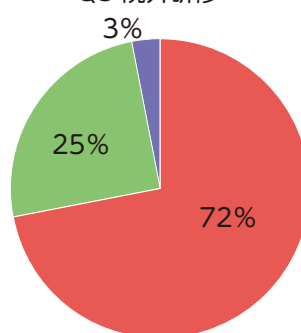
■ 知っている  
■ 知らなかった

Q2 短時間勤務の定員外



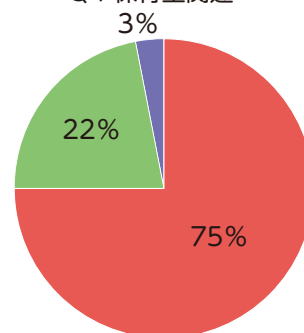
■ 知っている  
■ 知らなかった

Q3 院外研修



■ 知っている  
■ 知らなかった  
■ 無回答

Q4 保育室関連



■ 知っている  
■ 知らなかった  
■ 無回答

Q5 制度についての説明をご希望下さった診療科へは 2 月中にご対応させていただきます

アンケートにご回答いただきありがとうございました

## 2. 情報の発信

### 1) HPの開設

2018年10月に女性医師支援センターHPを開設し、院内の女性医師にセンターの活動及び育児や保育に関する情報を提供するのみでなく、院外で復職を考えている女性医師へ以下の情報提供を行っています。

- ①保育関係の制度（空き状況）
- ②短時間勤務制度
- ③復職支援関係情報
- ④ライフイベント支援関係情報
- ⑤その他（ベビーシッター派遣事業割引など）

このHPのアクセス解析を行い、医師の働き方改革において主として女性医師が求めているものは何であるかを検討した結果、保育への関心が高いことが明らかになっています。また、このような情報の中にはイクメンを望む男性医師や他職種の方々にも役立つ情報があることが分かってきました。



大阪医科大学  
女性医師支援センター

センター紹介 > 支援概要 > 連絡先窓口 > リンク先一覧

大阪医科大学 大阪医科大学附属病院

支援概要

キャリア支援

バンビ保育室 空き状況 > 短時間勤務制度 > 育児 短時間勤務制度 >

復帰支援

診療科の復帰支援プログラム >

ライフイベント支援

妊娠・出産 > 育児 > 介護 > その他 >

Topics 一覧はこちら

2020.06.24  
「ベビーシッター割引券」が届きました

2020.05.08  
妊娠中の医師（職員）の方へお知らせです【新型…

2020.04.28  
Smart News 臨時号（4月）【新型コロナウイルス…

Smart News

2020.05  
Smart News VOL.22  
▶アーカイブはこちら

大阪医科大学  
女性医師支援センター

TEL 072-684-6222(直通)

<https://omc-smart.jp/>



## 2) リーフレットの発行

センターの存在や活動内容が一目でわかる 3 つ折り版のリーフレット 1000 部を 2019 年 1 月に作成し、医療総合研修センターに常設したり研修医の採用説明会で配布したりするなど、センターの存在を知って欲しい若手医師に対して積極的にお届けするようにしてきました。



## 3) スマートニュースの発行

2018 年 7 月の第 1 号を発行以来、毎月スマートニュースを発行し、センターの活動内容や最新の支援情報を学内各部署に届けています。立ち上げたばかりの女性医師支援センターの知名度をあげる効果があり、スマートニュースを配布することでセンター HP へのアクセス数も増加もしてきました。

|                                          |                                     |  |
|------------------------------------------|-------------------------------------|--|
| <p>第 1 回アンケート調査について<br/>(女性医師、診療科長宛)</p> | <p>2 号<br/>3 号<br/>4 号</p>          |  |
| <p>センター HP 開設<br/>リーフレット発行</p>           | <p>5 号<br/>7 号<br/>8 号<br/>10 号</p> |  |

|                                                               |                                                        |                                                                                      |
|---------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>交流会開催報告<br/>(院内交流会)</p> <p>院外交流会<br/>(関西医大)</p>            | <p>6号</p> <p>12号</p> <p>19号</p> <p>21号</p>             |    |
| <p>短時間勤務制度<br/>(レジデント)<br/>(正職員)</p>                          | <p>9号</p> <p>14号</p>                                   |    |
| <p>バンビ保育室<br/>一時保育開始<br/>一時保育改定</p> <p>ベビーシッター<br/>派遣事業割引</p> | <p>11号</p> <p>17号</p> <p>18号</p> <p>20号</p> <p>臨時号</p> |   |
| <p>開設一周年記念<br/>講演会</p>                                        | <p>13号</p> <p>15号</p> <p>16号</p>                       |  |

## 4) 交流会開催

### ①院内開催

#### ■ 第1回 交流会

2019年6月19日に女性医師支援センター主催の交流会を「～OMCの男女共同参画を考える～」と題して開催しました。

当日は、医師・医学部生、男女合わせて22名が出席し、人事課、保育室からレジデントの短時間制度やバンビ保育室での一時保育についての説明があり、その後活発な質疑応答が行われました。

今回最も関心の高かったテーマは「病児・病後児の保育」についてであり、出席者より様々な意見が寄せられ今後の課題が明らかとなりました。

後半も各々の体験談を踏まえて話が進み、出席者からはもっと意見交換をしたかったとの声もあり、次に繋がる形で終わることができました。

開催日時 2019年6月19日(水) 17時～18時

開催場所 第3会議室(総合研究棟)

参加者 22名(医師、医学部生、職員)

#### 《意見交換の主な内容》

- ・病児保育体制について(使い勝手のよいものに)
- ・夜間保育体制について
- ・ベビーシッター会社との契約について
- ・男性医師へ協力、理解を求めることが必要



**第1回 女性医師支援センター 交流会**  
～OMCの男女共同参画を考える～

日時 2019年6月19日(水) 17:00～18:00 (途中入退室可能) 定員 20名程度 **参加費 無料**

場所 総合研究棟1階 第8会議室 **途中入退室可**

対象 若手医師・研修医・医学部生 (男女とも)

内容  
<各種制度のご紹介> 担当者よりわかりやすく説明します。  
・レジデント対象の短時間勤務制度  
・バンビ保育室の利用方法 (通常保育と一時保育)  
・意見交換  
立場を越えて肩肘はらず自由な雰囲気の中でお話しませんか?  
皆様のご参加をお待ちしています。

申込方法  
参加をご希望の方は、氏名・所属・連絡先(PHS又はメールアドレス)を  
明記の上、女性医師支援センター(smart@osaka-med.ac.jp)迄ご連絡ください。  
※申込締切 6月12日(水)※ **事前申し込み 必須**

大阪医科大学 女性医師支援センター  
TEL (072)664-6222 (内線218) 直通/生体・産婦  
MAIL smart@osaka-med.ac.jp URL : http://omc-smart.jp/



# 第1回 交流会アンケート集計結果

(2019年6月19日実施)

| 第1回 交流会アンケート集計結果                                 |                                                                                                        |                            |                  |                      |                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                           | (2019年6月19日実施)                       |
|--------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|------------------|----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|
| 1.女性医師がキャリアを継続していく上でどのような支援が必要か？                 |                                                                                                        |                            |                  |                      |                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                           |                                      |
| 設問<br>対象者<br>(回答者数)                              | 短時間勤務制度<br>の充実                                                                                         | 院内保育<br>制度の充実              | 育児休暇中の<br>復職支援   | 各診療科の復<br>職支援        | 完全複数主治医制                                                                                                                                                                                                                                                             | その他                                                                                                                                       |                                      |
| 医師<br>(10名)                                      | 9名                                                                                                     | 9名                         | 9名               | 8名                   | 8名                                                                                                                                                                                                                                                                   | ■短時間勤務の充実が良いが、院外研修など給与面での配慮ももう少しあるとよい。何より病児保育の充実(複数の手順を踏まなくて良いもの)朝熱が出た時に時間がない→朝一番から手術外来を予定をずらせない事が多い。                                     |                                      |
|                                                  |                                                                                                        |                            |                  |                      |                                                                                                                                                                                                                                                                      | ■病院に(部所)に医師が少なく交代が難しい。                                                                                                                    |                                      |
|                                                  |                                                                                                        |                            |                  |                      |                                                                                                                                                                                                                                                                      | ■病児保育(他3件)                                                                                                                                |                                      |
|                                                  |                                                                                                        |                            |                  |                      |                                                                                                                                                                                                                                                                      | ■病児保育など、保育制度の整備も大事だと思いますが、週1回、2回でも復帰していただける人が増えると、子供が病気になる学校行事などで、休みを取りやすくなる(マンパワーが増えるので)と思うので、仕事をしている人全員が個人の負担を軽減でき、研究活動にも時間を当てられると思います。 |                                      |
| 医学部生<br>(4名)                                     | 3名                                                                                                     | 2名                         | 2名               | 1名                   | 1名                                                                                                                                                                                                                                                                   | ■”子どもが熱が出たので休みます”と言いやすい雰囲気とシステムをつくっていくこと。                                                                                                 |                                      |
|                                                  |                                                                                                        |                            |                  |                      |                                                                                                                                                                                                                                                                      | ■子供が急に熱を出した時の支援                                                                                                                           |                                      |
|                                                  |                                                                                                        |                            |                  |                      |                                                                                                                                                                                                                                                                      | ■研修医の支援が無いので困る。当直時などの夜中の保育がないのでどうすればよいのか？                                                                                                 |                                      |
| 2.男女共同参画を考える上で何が大事だと思いますか？                       |                                                                                                        |                            |                  |                      |                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                           |                                      |
| 設問<br>対象者<br>(回答者数)                              | 個人の意識を<br>変える事                                                                                         | ワークライフバランスについて<br>男女で話合う機会 | 女性の昇格を<br>促進すること | 男性の育児休暇取得<br>の環境を整える | その他                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                           |                                      |
| 医師<br>(9名)                                       | 8名                                                                                                     | 7名                         | 4名               | 6名                   | ■根底に男性医師の理解が不十分すぎる事であるように思う。「女性をカバーしてあげている」という意識を持っている医師もいる。                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                           |                                      |
|                                                  |                                                                                                        |                            |                  |                      | ■カンファレンスが遅い、17:00には終了を                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                           |                                      |
|                                                  |                                                                                                        |                            |                  |                      | ■男性の共同参画委員会への参加                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                           |                                      |
|                                                  |                                                                                                        |                            |                  |                      | ■男性の時短勤務取得                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                           |                                      |
| 医学部生<br>(4名)                                     | 3名                                                                                                     | 1名                         |                  | 4名                   | ■どのような形で働いていきたいかは個人個人で異なるので、色々なニーズに合った働き方を選ぶようにしていただきたいなと思います。レジデントの時短制度はその第一だと思うので歓迎です、それ以外の職員(もっと上の先生方は知識も経験もあるので、それを生かせる制度を考えていただければうれしいです。ただ、週2回でもバイトがないと5万くらいなのでそれが保育園代を下回るようだとか明らかにモチベーションが下がります。抜本的な大学の賃金体系も検討いただければうれしいです。そうするとバイトに行かなくても大学で働く時間が確保できると思います。 |                                                                                                                                           |                                      |
|                                                  |                                                                                                        |                            |                  |                      | ■男性への協力(女性だけでなく)                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                           |                                      |
| 3.今後どのようなイベントに参加したいですか？                          |                                                                                                        |                            |                  |                      |                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                           |                                      |
| 設問<br>対象者<br>(回答者数)                              | 講演会<br>・シンポジウム                                                                                         | 他大学との<br>交流会               | 学内<br>交流会        | ランチ<br>ミーティング        | 勉強会                                                                                                                                                                                                                                                                  | 座談会                                                                                                                                       | その他                                  |
| 医師<br>(8名)                                       | 4名                                                                                                     | 2名                         | 6名               | 1名                   | 2名                                                                                                                                                                                                                                                                   | 5名                                                                                                                                        | ■話しやすい環境作り<br>■各々の家庭の事情で異なる          |
| 医学部生<br>(4名)                                     | 1名                                                                                                     |                            | 3名               |                      |                                                                                                                                                                                                                                                                      | 3名                                                                                                                                        | ■保育制度などの説明会<br>■女性医師キャリア・家族計画についての講演 |
| 4.女性医師支援センターへのご意見・ご要望をお聞かせ下さい。                   |                                                                                                        |                            |                  |                      |                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                           |                                      |
| 設問<br>対象者<br>(回答者数)                              |                                                                                                        |                            |                  |                      |                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                           |                                      |
| 医師<br>(6名)                                       | ■是非、多くの声を聞いて良いものにしてほしい。何より病児保育の充実を期待しており、協力したい。                                                        |                            |                  |                      |                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                           |                                      |
|                                                  | ■病児の朝の保育(その後はなるべく早く早退)できる周囲の環境                                                                         |                            |                  |                      |                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                           |                                      |
|                                                  | ■病児保育やベビーシッターなどあったら利用したいと思います。よろしくお願いします。                                                              |                            |                  |                      |                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                           |                                      |
|                                                  | ■学生やレジデントが働けるように                                                                                       |                            |                  |                      |                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                           |                                      |
|                                                  | ■ベビーシッター会社との契約は良い案だと思います。                                                                              |                            |                  |                      |                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                           |                                      |
| 医学部生<br>(4名)                                     | ■台風で公立の保育園や学校が休みの時に預かってもらえるシステムがあれば助かります。                                                              |                            |                  |                      |                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                           |                                      |
|                                                  | ■子どもの診断書があれば学生の出席を考慮してほしい。                                                                             |                            |                  |                      |                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                           |                                      |
|                                                  | ■院内での病児保育は色々課題がありそうだと思いますが、大学にベビーシッターが常におり、病気の際は受診(外部でよい)や保育(各自の自宅がありがたい)をしてくれる…という仕組みがあったらいいなと思っています。 |                            |                  |                      |                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                           |                                      |
|                                                  | ■意見交換時間がもう少し長くほしかったです。                                                                                 |                            |                  |                      |                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                           |                                      |
|                                                  | ■現状、様々な問題が存在することを知れて有意義な時間になりました。将来子供をもつ身として、考えなければならないことをより明確にできました。                                  |                            |                  |                      |                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                           |                                      |
| 回収率 医師・・・66%回収 (10名/15名中)/ 医学部生・・・80%回収 (4名/5名中) |                                                                                                        |                            |                  |                      |                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                           |                                      |

## 第2回 交流会

2020年2月14日に女性医師支援センター第2回交流会を「家庭から始まる男女共同参画～働き続けられる環境を整備する～」と題して開催しました。

当日は医師、学生、事務職員、そしてお子様も含め21名が参加し、終始和やかな雰囲気で見聞交換を行うことができました。

第1回開催と同様、病児保育についての関心が最も高く、センターとしては皆さまからの声をもとにこれらの課題に取り組んで参りたいと思います。

開催日時 2020年2月14日(金) 17時～18時

開催場所 第2会議室(総合研究棟)

参加者 21名(医師、医学部生、職員)

### ＜意見交換の主な内容＞

- ・一時保育の受入れ児童について
- ・病児を保育室に預ける際の手続きについて
- ・託児室の設置について
- ・短時間勤務の更新(変更)について
- ・センターHPの情報提供の仕方について 等



女性医師支援センター主催  
**第2回 交流会のご案内**

第2回 交流会を下記の日程で開催いたします。今回は、『家庭から始まる男女共同参画～働き続けられる環境を整備する～』をテーマに、軽食をとりながら、フリートーク形式で意見交換を行います。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

- 日 時** 令和2年2月14日(金)17時～18時(途中入室可)
- 場 所** 第2会議室(総合研究棟12階)
- テーマ** 「家庭から始まる男女共同参画  
～働き続けられる環境を整備する～」
- 参加者** 医師、研修医、学生など  
定員 30名程度 ※男女、職種を問いませんのでお気軽にご参加ください。
- 申込方法** 氏名・所属・連絡先(Phs又はメールアドレス)をご記入の上、当センター(smart@osaka-med.ac.jp)迄ご連絡ください。

**※申込締切 2月7日(金)※**

センターからのお知らせ

**＜ベビーシッター派遣事業割引券について＞**  
ベビーシッター派遣事業割引券の利用を12月より開始いたしました。ベビーシッターを利用する際に、料金の一部が助成されます。利用の際は手続きが必要となりますので、Smart News VOL.18をご覧ください。事務局までお問い合わせください。

**＜マタニティ白衣レンタルについて＞**  
マタニティ白衣レンタルの実施準備を進めています。利用可能になりましたら、Smart News及び当センターHPにて、ご案内いたします。

詳細は事務局までお問い合わせください。

大阪医科大学  
女性医師支援センター

窓口  
TEL 072-684-6222 (内)2818  
MAIL smart@osaka-med.ac.jp

総務部人事企画研修課(本館図書棟1階)  
(072)684-6222 (内)2818 担当/桑田・生田  
smart@osaka-med.ac.jp URL - https://omc-smart.jp/







## 交流会アンケート集計結果

(2020年2月14日実施)

| 設問            |  | 1.どのテーマに一番関心がありましたか？ |               |                 |               |                                                                     |  |
|---------------|--|----------------------|---------------|-----------------|---------------|---------------------------------------------------------------------|--|
| 対象者<br>(回答者数) |  | 短時間勤務制度<br>の改正       | 院内保育<br>制度の充実 | フリーワークの<br>情報交換 | センターからの<br>説明 | その他                                                                 |  |
| 医師5名<br>学生1名  |  | 4名                   | 5名            | 4名              | 1名            | ■ホームページ上の充実はとて素晴らしいと思いました。この交流会に参加された方や関心のある方に情報が届くようメールリストなど作るとよい。 |  |

| 設問            |  | 2.病児保育についてお伺いします。 |                                          |                 |                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |  |
|---------------|--|-------------------|------------------------------------------|-----------------|---------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 対象者<br>(回答者数) |  | 自宅近隣に保育<br>施設がある  | 子どもの病気で休<br>んだことがある                      | 院内に施設がある<br>とよい | シッターさんに<br>頼みたい<br>情報が欲しい | その他                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |  |
| 医師5名<br>学生1名  |  | 1名                | 3名<br><br>1回・・・1名<br>10回・・・1名<br>多数・・・1名 | 4名              | 4名                        | <div>■これまで助けてもらえる親が遠かったので、6歳・2歳の娘とも何度も病児を利用してきました。どの程度で病児に預けてでも働くかということは、個人々々で変わるといいます。軽くて重くてもしんどそうになる子を預けてでも働くことはどの親でも心苦しく葛藤しながら働くと思います。ですので、そのためにも安心して預けられるように病児保育が充実していただければと思います。</div> <div>■前日から熱がでているとわかっていた場合には、前日に近医を受診して了承を得、病児保育にできたらという意見に賛成です。保育士さんが納得できる形を検討できたらと思います。<br/>(近医で診断書を書いてもらうことは可能になるということか？)</div> <div>■病児保育は実は経験したことがないので他の施設ではどうやって子供の安全を担保しつつ保育しているのかというのが気になった。</div> <div>■病児保育の利用可能枠を広げてほしい。(通常保育を利用している児以外も)せめて一時保育を一度利用した児ではどうでしょうか。(そのために一度連れてきておくなどはできるといいます。)大学病院ですべて看護師(医師)も付けてもらえたらありがたいです。</div> |  |

| 設問            |  | 3.今後どのようなイベントに参加したいですか？ |              |                    |            |            |            |                                                                                                                                                                          |
|---------------|--|-------------------------|--------------|--------------------|------------|------------|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 対象者<br>(回答者数) |  | 講演会・<br>シンポ<br>ジウム      | 他大学との<br>交流会 | 学内<br>交流会          | ランチ<br>MTG | 勉強会        | 座談会        | その他                                                                                                                                                                      |
| 医師5名<br>学生1名  |  | 2名<br>17時～              | 1名<br>17時～   | 4名<br>17時～<br>週末の昼 | 2名         | 1名<br>17時～ | 2名<br>17時～ | <div>■以前勤めていた大学はこういう交流会を土曜か日曜のお昼にしていました。子供も連れてきてシッターに見てもらえるようにしていましたので多くの方が参加できていたように思います。土日はハードルが高いように思いますが、年に一度、二度くらいであれば集まれる人もいるのではと思います。</div> <div>■保育もお願いします</div> |

| 設問            |  | 4.センターの開設後あなた自身の考え方や貴科で変わったと感じることはありますか？ |                    |                |         |                                                                                                                                                                                                                                                              |
|---------------|--|------------------------------------------|--------------------|----------------|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 対象者<br>(回答者数) |  | 医局の雰囲気がよ<br>くなった                         | 上司の理解が以<br>前よりよかった | センターに相談で<br>きる | 何も変わらない | その他                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 医師5名<br>学生1名  |  | 0名                                       | 1名                 | 3名             | 1名      | <div>■子供のいる状態で徐々に大学に戻ってきたので、以前の体制と変わったのかは分かりません。けれども、科長も非常に協力的であることはとてもありがたいです。働く意欲にもつながります。女性の少ない科ですが、男性医師は女医と結婚されている率も高く、それもまた理解してくださる方が多いように思います。</div> <div>■もともと協力的</div> <div>■短時間勤務制度を利用する医師が増えた。(これまで出産を終えた女医は大学常勤ができない雰囲気があったがそれが少し解消された・・・?)</div> |

| 設問            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 5.今お困りのことや希望することなどがありましたらご記入ください。 |
|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|
| 対象者<br>(回答者数) |                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                   |
| 医師5名<br>学生2名  | <div>■HPの充実(Q&amp;A、予約フォームの導入)</div> <div>■病児保育の利用枠拡大</div> <div>■一時保育で昼食を出すことは可能か？(持参か注文で)</div> <div>■育休中の一時保育は可能か？</div> <div>■当直不可の医師が増えると他の医師の負担になってしまうことが今後問題になってくるのではと思う。</div> <div>■女性医師だけでなくパパである男性医師も育児する雰囲気(?)があってほしい。</div> <div>■子供のいる学生もいるので、学生でも附属の保育所(特に病児保育)が利用できると良いと思う。</div> |                                   |

【回収率 77% 医師7名、医学部生2名】

## ②院外開催

2018 年 11 月 6 日に関西医科大学卒後臨床研修センターを訪問し、センター長の植村先生をはじめスタッフの方々と懇談会を開催しました。本学からは、神崎センター長、喜田副センター長、佐野副理事長及び事務局 2 名が出席し、女性医師支援に対する取り組みについて意見交換を行いました。その中でも特に、「短時間勤務制度」、「院内保育所」、「キャリア支援」についてお互いの取り組みについて話し合いを行いました。関西医大は女性医師支援の取り組みに病院全体が前向きで、女性医師同士でランチタイムミーティングや女性医師専用のメーリングリストを作成する等、独自のネットワークで情報共有に取り組んでいるとのことでした。また、女性医師に限らず、男性医師や子供の有無で差が出ないように配慮されており、働きやすい環境づくりを大切にされているとのことでした。

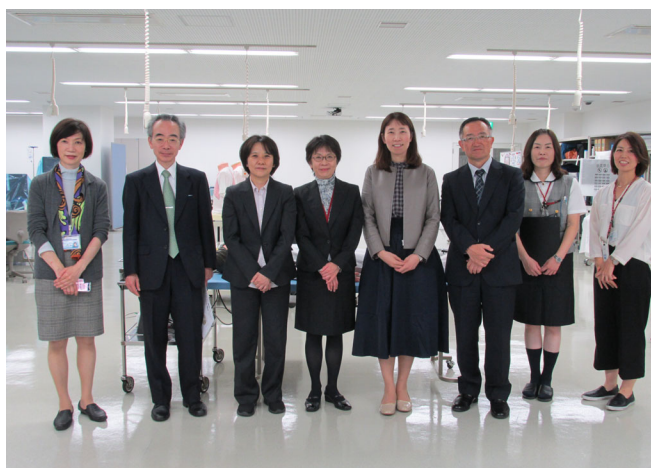
懇談会後の施設見学では、小児科の外来の授乳室や女性医師当直室、更衣室、シミュレーション室、病院併設の保育所などを見学させていただきました。どの設備も新しく、使い勝手が良さそうで、特にシミュレーション室は広々とした空間に最新の機器が配備されていました。

今後については、両大学で女性医師支援に関するイベントなどの開催を検討することになり、今回の訪問を終えました。

植村センター長初め事務局の皆様、お世話になりました。

## ■ 関西医科大学懇談会

|      |                               |
|------|-------------------------------|
| 開催日時 | 2018 年 11 月 6 日（火） 16 時～ 17 時 |
| 開催場所 | 関西医科大学卒後臨床研修センター              |
| 参加者  | 関西医科大学 3 名<br>大阪医科大学 5 名      |



## 5) 開設一周年記念講演会開催

2019年11月5日(火)に女性医師支援センター開設一周年記念講演会を開催し、岡山大学医療人キャリアセンター MUSCAT センター長の片岡 仁美教授をお招きし、「大学病院における働き方を考える」と題してご講演をいただきました。

「女性医師支援から始まる大学病院における働き方改革時代」を見据え、女性医師のキャリア支援のフロンティアである MUSCAT プロジェクトの様々な取り組みをご紹介いただきました。

会場には50名を超える教職員が集まり、キャリア支援に関する質問など活発な意見交換が行われ、盛会裏に終わりました。本講演は、これからの働き方を考える上で貴重な機会となりました。

### 開設一周年記念講演会開催

開催日時 2019年11月5日(火)  
開催場所 学I講堂(講義実習棟2階)  
出席者 教職員 55名



# 女性医師支援センター開設 一周年記念講演会

～大学病院における働き方を考える～

日時

**2019年11月5日(火)**  
17:00～18:00 (開場16:30～)

講師

岡山大学医療人キャリアセンターMUSCATセンター長  
(厚生労働省 医師の働き方改革の推進に関する検討会の構成員)  
**片岡 仁美 先生**

会場

**学I講堂 (講義実習棟2階)**

〈対象〉  
教職員・学生  
(男女とも)

講演内容

大学病院における働き方改革を考えていく中で、女性医師キャリア支援のフロンティアである岡山大学 MUSCAT プロジェクトの取り組みをご紹介します。  
女性も男性もイキイキと働ける職場作りを目指し、取り組み可能なことから始めて行く上での重要なポイントをご教示いただきます。皆様、是非ご来聴ください。

大阪医科大学  
女性医師支援センター

窓口  
TEL  
MAIL

総務部人事企画研修課(本館図書館棟1階)  
(072)684-6222 (P)72818 担当/生田・森田  
smar1@osaka-med.ac.jp URL: <https://omc-smar.jp/>



## 6) 各種説明会及び懇談会

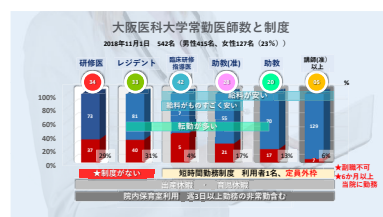
### 大阪医科大学医師会座談会

開催日時 2018年12月10日(月)

開催場所 第7会議室

出席者 7名

2018年12月に大阪医科大学医師会主催の座談会(テーマ「医師の働き方改革」)に神崎センター長が出席し、センターのこれまでの取り組みから見えてきた問題点や今後の対策などについてデータをもとに紹介されました。女性医師への支援を行い女性医師の復職を促すことは医師の超過勤務時間軽減につながり病院全体の働き方改革が進むとの理解がいただけました。



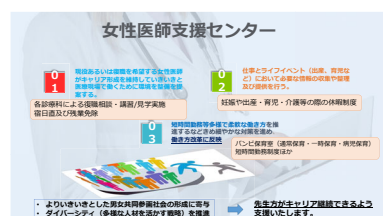
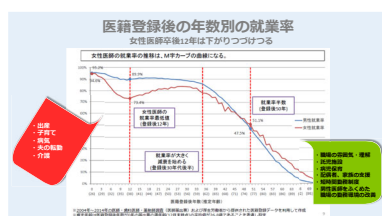
### 臨床研修医採用説明会

開催日時 2019年6月15日(土)

開催場所 P101(新講義実習棟1階)

参加者 約80名

2019年度本院に配属された女性研修医の割合は全体の14%と例年に比較してかなり低い結果となりました。(2018年度女性研修医の割合34%、2017年度同30%)原因は不明とのことでした。そこで、2020年度の研修医の採用説明会にセンター長が出席し、女性医師支援センターの存在を案内し、活動内容を伝えることにしました。2020年度女性研修医の割合は飛躍的に増え、40%となりました。センターの活動が直接功を奏したとは限りませんが、今後もセンターの支援活動の充実に努めて参りたいと思います。





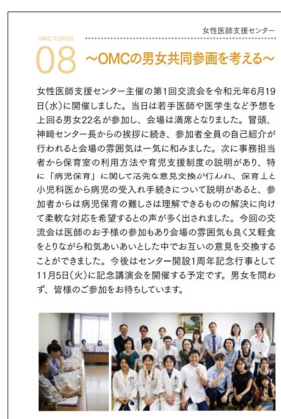
## 7) 各種刊行誌への掲載

### ①学報掲載

学報 117 号に「大阪医大の新しい取り組み」として女性医師支援センターの記事が掲載されました。センターを新設した理由や取り組み方針などが紹介されています。また、第 1 回交流会の様子や開設一周年記念講演会の様子をそれぞれ学報にて掲載しています。なお、大学 HP の TOP 画面上には「女性医師支援センター」のバナーが設置されており、ここから女性医師支援センター HP 専用サイトをご覧くださいことが可能です。



学報 117 号



学報 121 号



学報 122 号

### ②大阪医科大学 仁泉会ニュース掲載

大阪医科大学仁泉会ニュースは大阪医科大学医学部を卒業された OB や医学部生保護者に送付している雑誌であり、今回 50 巻第 3 号にてセンター長と副センター長がインタビュー形式で登場し、母校にセンターが開設された経緯や今後の豊富について語りました。(発行部数約 6,000 冊)



### ③医療連携室ニュース「みずき」掲載

大阪医科大学附属病院広域医療連携センターが発行している情報誌「みずき 2019 年年始号 Vol39」において女性医師支援センターの開設と取り組みを全国の紹介元医療機関に対して紹介しました。  
※「みずき」は全国の紹介元医療機関（約 2,400 カ所）に配布されています。



### 3. 課題の整理と改善活動

#### 1) ライフイベントに利用できる制度

妊娠、出産、育児などに利用できる国の制度を利用することにより個人のワークライフバランスを設計する際に役立ちます。

現在本院に占める女性医師の割合は全体の 23%ほどですが、これらの制度を利用して、一人でも多くの女性医師が復職し、活躍いただくことを期待します。

ライフイベントに利用できる制度と期間

| 項目                           | 結婚 妊娠 産前 出産 産後 1歳 1歳半 3歳 小学校入学前 |  |   |   |             |   |   |  | 対象 |    |    |
|------------------------------|---------------------------------|--|---|---|-------------|---|---|--|----|----|----|
|                              |                                 |  |   |   |             |   |   |  | ※1 | ※2 | ※3 |
| 妊娠・出産（母性健康管理の休暇等）            |                                 |  |   |   |             |   |   |  |    |    |    |
| 産前休暇                         |                                 |  |   |   | ■ (産前6週間)   |   |   |  | ●  | ●  | ●  |
| 産後休暇                         |                                 |  |   |   | ■ (出産から8週間) |   |   |  | ●  | ●  | ●  |
| 妊娠中の通勤緩和                     |                                 |  | ■ |   |             |   |   |  | ●  | ●  | ●  |
| 妊娠中の休暇の特例                    |                                 |  | ■ |   |             |   |   |  | ●  | ●  | ●  |
| 妊娠中又は出産後の諸症状に対応する措置（勤務時間短縮等） |                                 |  | ■ |   |             |   |   |  | ●  | ●  | ●  |
| 配偶者の出産休暇                     |                                 |  |   | ■ |             |   |   |  | ●  |    |    |
| 育児                           |                                 |  |   |   |             |   |   |  |    |    |    |
| 育児休暇                         |                                 |  |   |   | ■           | ■ |   |  | ●  | ●  | ●  |
| 所定外労働の制限                     |                                 |  |   |   | ■           | ■ | ■ |  | ●  | ●  | ●  |
| 時間外労働の制限                     |                                 |  |   |   | ■           | ■ | ■ |  | ●  | ●  | ●  |
| 深夜労働の制限                      |                                 |  |   |   | ■           | ■ | ■ |  | ●  | ●  | ●  |
| 育児時間（授乳）                     |                                 |  |   |   | ■           | ■ |   |  | ●  | ●  | ●  |
| 子の看護休暇（1年に5日取得、1日又は半日で利用可）   |                                 |  |   |   | ■           | ■ | ■ |  | ●  | ●  | ●  |

出生後8週間以内の期間に夫が育児休暇を取得の場合は、分割して取得可能です。（パパ休暇）  
※また、パパママ休暇プラスの場合は1歳2ヶ月まで延長できます。

| 項目                  | 出産 産後 1歳 1歳半 3歳 4歳 |  |  |  |   |   | 対象 |    |     |
|---------------------|--------------------|--|--|--|---|---|----|----|-----|
|                     |                    |  |  |  |   |   | ※1 | ※2 | ※3注 |
| 保育室                 |                    |  |  |  |   |   |    |    |     |
| 通常保育                |                    |  |  |  | ■ | ■ | ●  | ●  | ●   |
| 一時保育                |                    |  |  |  | ■ | ■ | ●  | ●  | ●   |
| 病児・病後児保育（通常保育利用者のみ） |                    |  |  |  | ■ | ■ | ●  | ●  | ●   |
| 夜間保育（19:30まで）       |                    |  |  |  | ■ | ■ |    |    |     |

状況により4歳迄延長可能

■ 女性  
■ 男性  
■ 男女とも

※1 教授、准教授、講師、講師（准）、助教、助教（准）  
※2 レジデント、臨床研修医  
※3 非常勤医師、非常勤講師、分院医師（大学院生）  
（注：本院で週3日以上診療に従事していること）

| 項目       | 取得可能日数  |       |       |          |      | 対象 |    |    |
|----------|---------|-------|-------|----------|------|----|----|----|
|          | 1～6日    | 1週間以上 | 1ヶ月以上 | 2ヶ月以上    | 1年以上 | ※1 | ※2 | ※3 |
| 介護       |         |       |       |          |      |    |    |    |
| 介護休業     |         |       |       | ●(93日/人) |      | ●  | ●  | ●  |
| 介護休暇     | ●(5日/人) |       |       |          |      | ●  | ●  | ●  |
| 所定外労働の制限 |         |       |       |          |      | ●  | ●  | ●  |
| 時間外労働の制限 |         |       |       |          |      | ●  | ●  | ●  |
| 深夜勤務の免除  |         |       |       |          |      | ●  | ●  | ●  |

| 項目   | 取得可能日数  |       |       |       |      | 対象 |    |    |
|------|---------|-------|-------|-------|------|----|----|----|
|      | 1～6日    | 1週間以上 | 1ヶ月以上 | 2ヶ月以上 | 1年以上 | ※1 | ※2 | ※3 |
| 結婚   |         |       |       |       |      |    |    |    |
| 結婚休暇 | ●(5日/人) |       |       |       |      | ●  |    |    |

※1 教授、准教授、講師、講師（准）、助教、助教（准）

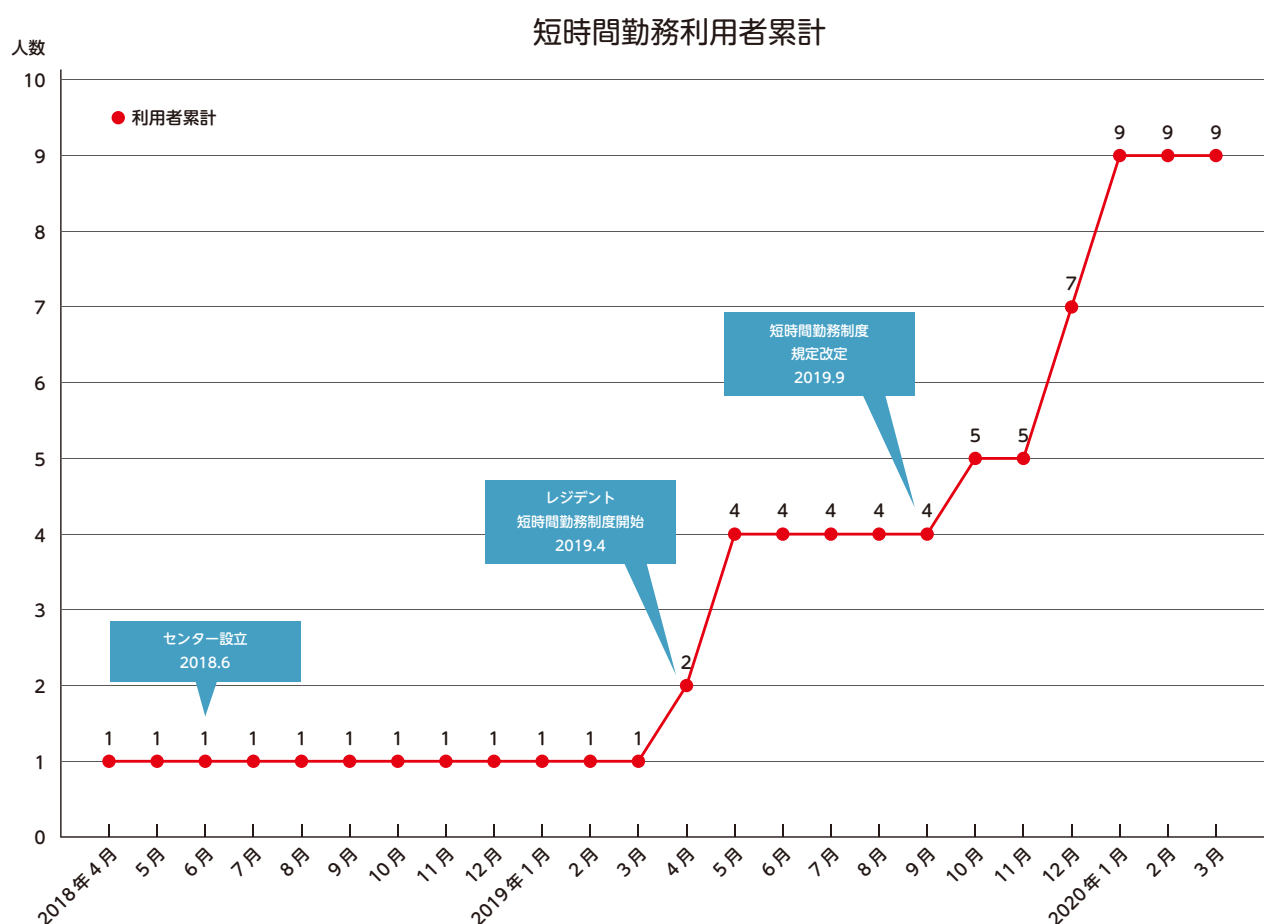
※2 レジデント、臨床研修医

※3 非常勤医師、非常勤講師、分院医師（大学院生）



## 2) 短時間正職員制度の見直し

2019年9月1日より「短時間正職員制度に関する規程」が改定されました。育児や介護に際しての離職防止や専門医の資格維持などを目的とした制度です。従来短時間勤務をする場合は院外研修が認められておらず、またその規程が周知されていなかったため、利用者はほとんどいない状態でした。そこでセンター長より事務局に申し入れを行った結果、助教、助教(准)、臨床研修専任指導医に限っては短時間勤務の場合も院外研修が可能となり、また規程が学内規程集に掲載され、周知が図られることになりました。キャリアを継続する上での働き方の選択肢が増えたことにより、短時間勤務の利用者増加に繋がっていきました。



|            | 2018年 |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    | 2019年 |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    | 2020年 |    |    |
|------------|-------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-------|----|----|
|            | 4月    | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月    | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月    | 5月 | 6月 |
| 新規利用者件数    |       |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    | 1     | 2  |    |    |    |    | 1   |     | 2   | 2  |    |    |       |    |    |
| 利用終了者件数    |       |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |       |    |    |    |    |    |     | 1   |     |    |    |    |       |    |    |
| 利用者件数 (月間) | 1     | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1   | 1   | 1   | 1  | 1  | 1  | 2     | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 5   | 4   | 6   | 8  | 8  | 8  |       |    |    |



### 3) レジデントの短時間勤務制度施行

2019 年 4 月 1 日よりレジデントの短時間勤務制度が新規に設けられました。レジデントの出産・育児・介護等のライフイベントにおいて、専門医資格の取得・維持などのキャリア形成を支援するための制度です。新専門医制度に移行し各分野の研修プログラムが定められていますが、そのプログラムの多くで短時間勤務制度が認められていることからレジデントの短時間勤務制度の必要性をセンター長より事務局に伝え施行されることとなりました。専門医を取得するためには短時間勤務だけの研修では難しい側面もありますが、まずはキャリアを継続することを前提とした取組みの一つと捉えています。

2020 年 3 月時点でまだこの制度を利用したレジデントはいませんが、働き方の選択肢を増やすことで一人でも多くの医師が働き続けられることを願っています。

#### レジデント（契約職員）の短時間勤務制度

| 新規制度            |      |                                                         |
|-----------------|------|---------------------------------------------------------|
| レジデント<br>(契約職員) | 対象者  | 小学校就学前までの子を養育するレジデント                                    |
|                 | 勤務時間 | 1 週当たりの勤務日は 2 日以上<br>1 日当たりの勤務時間は 4 時間以上                |
|                 | 定員   | レジデント枠の定員外であり、定員の 10% 以内<br>(1 名未満は切り上げ)                |
|                 | 賃金   | 実労働時間分を支給（但し、子が 3 歳に達した日が<br>属する月の翌月以降は実労働時間分の 80% を支給） |
|                 | 院外研修 | 1 週につき半日 1 回（1 コマ） 年間累計 30 日以内                          |

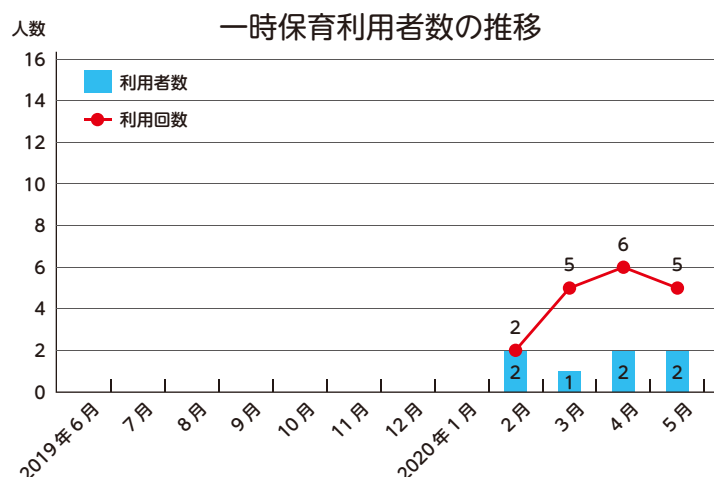
## 4) 一時保育制度の開設

アンケート調査及び HP のアクセス解析結果から女性医師がキャリア形成する上で最も重要なものの一つとして保育の支援であることが明らかになりました。特に病児保育と一時保育の利用を望む声が多くあがっていました。

そこで、本学附属のバンビ保育室に一時保育として、診療に従事する医師に対し外来や手術などの際にお子様をお預けできる制度を設けることとしました。

2019 年 6 月の開設当初は、利用時間や利用対象者に制限があったため、利用者の増加には至りませんでした。同年 10 月に利用時間の延長に加え男性医師の利用も可能にするなど見直しを行うことにより、現在では徐々に利用する方が増えてきました。また、予約状況をセンター HP 上で確認することが可能になり今後も利用者の増加が見込まれます。

|         |                                        |
|---------|----------------------------------------|
| 利用対象者   | 診療に従事する医師のお子様を対象に、外来や手術などの業務時にお預かりします。 |
| 受入れ対象児童 | 体調の良い 3 歳に達する年度末までの乳幼児                 |
| 利用時間    | 平日の午前 7 時半～午後 7 時半まで                   |
| 場所      | バンビ保育室                                 |
| スタッフ    | バンビ保育室の保育士が担当します。                      |
| 利用料金    | 500 円 / 時（1 時間未満は切り上げ） 給与控除方式          |
| 定員      | 可能な範囲で受入れ                              |
| 持ち物     | おやつ、食事は持参してください。                       |



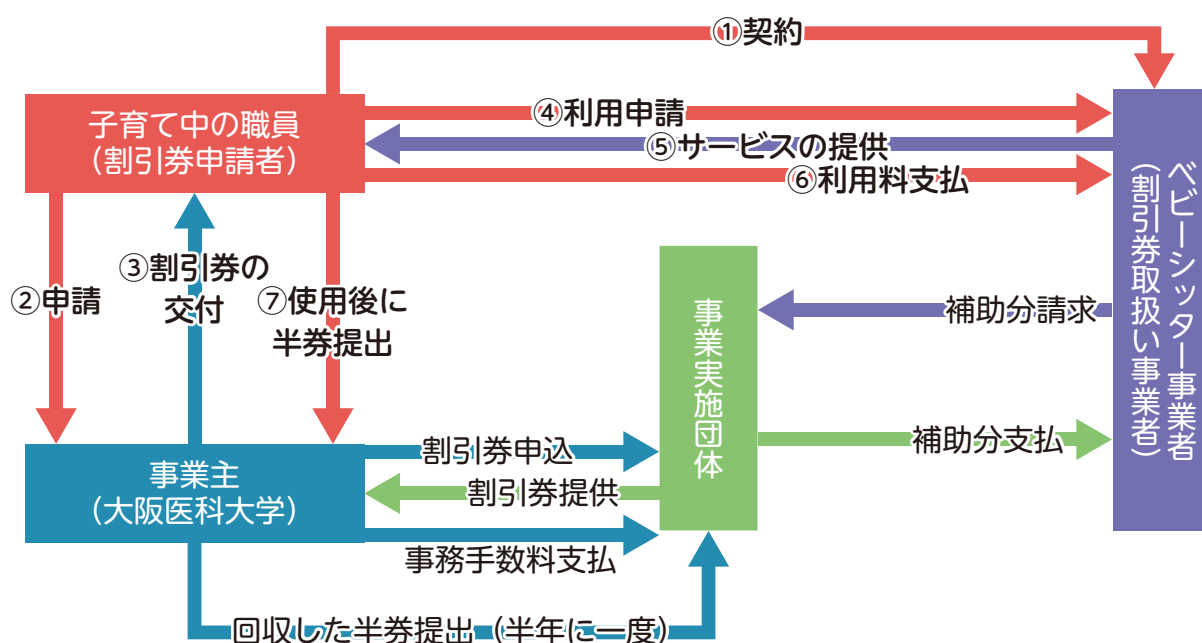
|         | 利用者数 | 利用回数 / 月 |
|---------|------|----------|
| 2019年6月 | 0    |          |
| 7月      | 0    |          |
| 8月      | 0    |          |
| 9月      | 0    |          |
| 10月     | 0    |          |
| 11月     | 0    |          |
| 12月     | 0    |          |
| 2020年1月 | 0    |          |
| 2月      | 2    | 2        |
| 3月      | 1    | 5        |
| 4月      | 2    | 6        |
| 5月      | 2    | 5        |

## 5) ベビーシッター派遣事業割引券

内閣府の子ども・子育て支援事業の一環として企業主導型ベビーシッター利用割引券制度があります。教職員のワークライフバランス充実のため 2019 年末より利用開始しました。この制度を利用することにより料金の一部が助成されることになります。

詳細は女性医師支援センター HP に掲載しています。

|      |                                                                                    |
|------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 対象者  | 乳幼児又は小学校 3 年生までの児童の保護者<br>(＊条件により 6 年生まで対象となる場合あり)                                 |
| 利用目的 | 配偶者の就労、病気療養、求職活動、就学、職業訓練等により就労が困難な状況にある場合（職場への復帰を含む）                               |
| 割引額  | 1 枚当たり 2,200 円の補助                                                                  |
| 利用限度 | 1 日一人につき 1 枚利用可能、但し 1 回の使用枚数の上限は利用料金を超えないこと<br>(対象児童 2 名で料金 3,000 円の場合は 1 枚のみ使用可能) |
| 支給枚数 | 児童一人につき 24 枚／月 280 枚／年                                                             |



|           | 2019 年度 |     |     |     | 総数    |
|-----------|---------|-----|-----|-----|-------|
|           | 12 月    | 1 月 | 2 月 | 3 月 |       |
| 登録者数 (件数) | 0       | 1   | 3   | 1   | 5 件   |
| 発行数 (枚数)  | 0       | 2   | 50  | 54  | 106 枚 |

## 6) マタニティレンタル白衣

妊婦さんに対してマタニティ白衣のレンタルサービス（無料）を 2020 年 4 月より開始いたしました。シングルとダブル仕様があり、サイズは S～L となっています。洗い替え用を含めお一人 2 枚までレンタルが可能です。

### サイズ

S、M、L の 3 種類、シングルとダブルの 2 種類からお選びください。  
※ご試着可能です。  
申請書は女性医師支援センター HP からダウンロードしてください。

### ■ シングル白衣



大きなポケットが前面に 2 カ所、胸元に 1 カ所あります。  
素材はポリエステル 65%、コットン 35%の混紡です。

### ■ ダブル白衣



ダブル仕立てでお腹の膨らみが目立たない  
身頃の打ち合わせが深く胸元が開きにくい  
透け防止、帯電防止、制菌加工した生地を採用  
スリット入り、カフスつきの八分袖で折り返しやすい  
大きめのポケットを採用  
ステッチの効いたトレンチ風の襟とバックベルトがおしゃれ





## 7) 病児保育所の紹介

病児保育に関しては初回に女性医師に行ったアンケートの回答によると支援体制の充実を望む声が多数寄せられています。これまでもバンビ保育室で病児を預かる制度はありましたが、バンビ保育室に通園している児童に限られ、また本院の小児科を受診することに限られていたため、利用しづらいとのご意見がありました。これらを踏まえ 2019 年 11 月より保育室運営会議が設置され、現在、病児保育制度の運用について検討されています。新たな制度などの情報につきましてはセンターの HP 及びスマートニュースなどで順次お知らせいたします。なお、以下に外部の病児保育施設について記載します。

### ■ 高槻市

#### 高槻認定こども園

大学病院近隣の高槻認定こども園では、市民の多様な保育ニーズに対応するため、在園児以外も利用できる「休日・一時預かり保育」及び「病児保育」を実施しています。

「休日・一時預かり保育」では、急な仕事や用事などで家庭で保育できないときなどに 1 時間単位で利用できる「随時利用」と、求職活動等で一定期間子どもを預けたいときなどに最大 3 か月利用できる「定期利用」があります。これらの運営は、株式会社ポピンズに委託して実施されています。

また、「病児保育」では、子どもが病気でいつもの保育所等に預けられず、仕事も休めないときなどに利用できます。（医師の診断が必要です）

詳細につきましては、以下の URL をご覧のうえ、直接事業所にご連絡ください。

[http://www.city.takatsuki.osaka.jp/m/scene/ninshin/ikuji/byoji\\_hoiku/1552442984849.html](http://www.city.takatsuki.osaka.jp/m/scene/ninshin/ikuji/byoji_hoiku/1552442984849.html)



休日・一時預かり保育



病児保育

| 高槻市病児保育（高槻認定こども園）利用案内 高槻市八丁畷町 12-5 (TEL 072-681-2501) |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                             |
|-------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|
| 対象児童                                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●高槻市に在住し、保育認定を受けている生後 6 ヶ月～就学前までの児童</li> <li>●定員 3 名</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                             |
| 利用時間                                                  | ●月～金曜日（祝日除く） 午前 8 時～午後 6 時                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 【受付・問合せ】 午前 8 時 45 分～午後 5 時 |
| 利用できない場合                                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>●発熱がある               <ul style="list-style-type: none"> <li>①入室時に、38.5 度以上の熱がある場合</li> <li>②発熱後 24 時間を経過していない場合（インフルエンザは発熱後 48 時間経過必要）</li> </ul> </li> <li>●症状               <ul style="list-style-type: none"> <li>①喘息の重篤な発作がある場合</li> <li>②水分等の経口摂取ができない場合</li> <li>③食事がとれない状態にある場合</li> <li>④脱水症状がある場合</li> <li>⑤意識混濁がある場合</li> </ul> </li> </ul> |                             |
| 申込方法                                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●事前届け「病児保育登録届出書」の登録が必要 病児保育にて記入</li> <li>●利用の際には予約が必要 電話で空き状況の確認（TEL 072-681-2501）</li> <li>●かかりつけ医で受診</li> <li>●「病児保育利用申請書」・「病児保育連絡票兼個人記録票」を記入（用紙は病児保育室にあります）</li> </ul>                                                                                                                                                                             |                             |

## 民間事業者

民間のベビーシッター保育を行っている会社には病児保育を取り扱っているところもあります。詳しい情報につきましては女性医師支援センターまでお問合せください。

### 令和元年度 割引券等取扱事業者一覧

〈2020年4月現在〉

|    |                              |    |                              |
|----|------------------------------|----|------------------------------|
| 1  | (株)赤門マミーサービス                 | 2  | (株)明日香                       |
| 3  | NPO法人 アリスチャイルドメイト            | 4  | (株)アリス                       |
| 5  | (株)アルファコーポレーション アルファ・キッズ・クラブ | 6  | (株)アンティホールディングス(株)           |
| 7  | (株)イコニコ・カンパニー                | 8  | イソイズ(株) ポピンズサービス京都           |
| 9  | (有)ウィズ                       | 10 | (株)エヌシーエムエージャパン              |
| 11 | (株)エルバ                       | 12 | (株)大崎ホームヘルプサービス              |
| 13 | オフィスポケット(株) マーマ本部            | 14 | (株)クラッシー ステラ事業部              |
| 15 | (株)ケアサポート金沢                  | 16 | (株)ケアメイトサービス チャイルドケアサービスびよびよ |
| 17 | (株)子育て支援                     | 18 | (株)コマーム                      |
| 19 | コンビスマイル(株)                   | 20 | (有)札幌シッターサービス                |
| 21 | サンフラワー・A(株)                  | 22 | (株)JAHG                      |
| 23 | (株)シェヴ                       | 24 | (株)しったん                      |
| 25 | (株)ジャパンベビーシッターサービス           | 26 | (株)小学館集英社プロダクション ベビーシッターのハズ  |
| 27 | (株)スマートシッター                  | 28 | (株)スマイルパートナー                 |
| 29 | (株)タカミサプライ                   | 30 | (株)タスク・フォース ラビットクラブ本部        |
| 31 | (有)ティンクルプランニング               | 32 | (株)テノ サポート                   |
| 33 | (株)TWO CARAT                 | 34 | (株)トットメイト                    |
| 35 | トレンディワールド(株)                 | 36 | (株)ナチュラル マミー東京               |
| 37 | (株)西日本介護サービスウィズキッズ長丘         | 38 | (株)日本デイケアセンター                |
| 39 | (株)ネス・コーポレーション               | 40 | 認定NPO法人ノーベル                  |
| 41 | (有)ノトス 保育事業部ちいさいブツ           | 42 | (株)バザバ情操教育研究所                |
| 43 | (株)ハッピーナース ミルキーホーム           | 44 | ナニークローバー(株)                  |
| 45 | (株)パワーネット サマンサ               | 46 | HITOWAキャリアサポート(株) わらべうた      |
| 47 | ファミリエクラブ(株)                  | 48 | ファミリーベル(有) マーマ埼玉             |
| 49 | (株)プリマベラジャパン                 | 50 | 認定NPO法人フローレンス                |
| 51 | (有)ベビーヘルパーPOPO               | 52 | (有)ポピィ                       |
| 53 | (株)ポピンズ ポピンズナニーサービス          | 54 | (株)ボレ・ボレ                     |
| 55 | (株)マイスタイル ポストメイトシッターサービス     | 56 | (株)mai・chai・mai              |
| 57 | (有)マザーグース                    | 58 | (株)マザーネット                    |
| 59 | (株)ママ・サービス                   | 60 | (株)ママMATE                    |
| 61 | (株)マミーズファミリー                 | 62 | マミーヒルズ(株)                    |
| 63 | (株)メアリーポピンズ                  | 64 | (有)メイコーポレーション マミーズサービス       |
| 65 | mormor(株)                    | 66 | ヤクルト山陽 プティット                 |
| 67 | (株)ようよ                       | 68 | (株)ラヴィ                       |
| 69 | ル・アンジェ(株)                    | 70 | (株)One&Only                  |

### マッチング型事業者

|   |           |   |                    |
|---|-----------|---|--------------------|
| 1 | (株)キッズライン | 2 | (株)ネクストビート キズナシッター |
|---|-----------|---|--------------------|

全国サービス協会資料引用

## 第3章 今後の活動計画

医師に関する労働基準法の改正が施行されるのは 2024 年です。医師の働き方については緊急的な取組みとして以下の項目が示されています。その一つである女性医師等への支援は制度として社会に定着させなければなりません。

- ①医師の労働時間管理の適正化に向けた取組
- ②36 協定等の自己点検
- ③既存の産業保健の仕組みの活用
- ④タスク・シフティング（業務の移管）の推進
- ⑤女性医師等に対する支援

現在法人では、働き方改革推進本部設置を検討しており、今後はその中に女性医師支援センターを配置して様々な取組みを行っていくことになります。

2019 年度までの活動の中心は、現在医師として医療に従事する女性への支援、とりわけ育児に関するものでしたが、これは女性医師のみならず男性医師や他職種の女性の離職防止に役立つものであったと考えています。コロナ猖獗によりその解析には至りませんでした。今後離職率を調査しなければなりません。

他方、一旦離職した女性医師の復職支援について 2019 年度は各診療科の復職支援プログラムの調査のみに終わりました。今後は復職支援プログラムのブラッシュアップを各診療科にお願いすることから始め、離職中の女性医師を発掘していき、センターを窓口として本人の希望する診療科や医療機関に紹介し、最終的に復職につなげていくことが求められます。

### ① 復職支援

- ・ 医師会と協力して復職希望者にアプローチ
- ・ 復職支援プログラムのモデルケースを作成
- ・ 復職前の相談窓口の開設及びアイドリング期を制度化

### ② キャリア継続支援

- ・ 現在の短時間勤務制度の充実
- ・ 離職理由の分析

### ③ 研究者支援

- ・ 女性医師支援の制度を研究者に拡大
- ・ 科研費や外部資金の情報を収集し予算を確保できる体制作り

### ④ 育児支援

- ・ 病児保育の充実

# おわりに

政府が推進する医師の働き方改革の中で“女性医師等に対する支援”が大きな柱の一つとして位置づけられたのを機に、2018年4月に永年の課題であった女性医師支援センターを立ち上げました。開設当初はキャリア継続の際の最大の障壁となっている出産・育児等のライフイベントとの両立を図る手立てとして主に育児支援にウエイトを置いた取り組みを行ってきました。

センター開設後3年目を迎えるにあたって、キャリア継続支援に加え復職支援を強化し、また女性医師限定であった対象者を男性医師や女性研究者にも拡大、今後さらにはダイバーシティを意識した取り組みへと深化させていかななくてはなりません。

復職支援については診療科が策定した復職支援プログラムの更なるブラッシュアップを支援し、内外にアピールすることで女性医師の早期復職を促進します。

女性研究者特有の障壁もあることから、まずは現状把握を目的に早期にアンケート調査を実施して課題抽出することとします。

復職支援の具体策についてはセンター内に設置している運営会議及び運営推進会議で検討を重ねた上で速やかに実行に移すことになります。

政府主導の「働き方改革」に基づく法人の働き方改革については今回の新型コロナウイルス感染症の影響もあり加速化し、従来の既成概念に囚われない新しい労働形態が加わることは確実で、試行錯誤が続くことになります。

これまでの様な画一的な考え方が限界に達しつつある現在、職員お互いが多様性を認め合えるような職場環境を目指していきますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

女性医師支援センター事務局







## 編集 後記

女性医師支援センターが2018年度より活動を開始してから丸2年となりました。センターの事務局を務めるまでは女性医師に対してただ漠然とした華やかさや憧れのような想いがありました。一緒にお仕事をさせていただく中、人の生命に関わる仕事への責任感、育児と仕事の両立、さらに研究への熱意など、全てにおいて手を抜かず頑張っておられる先生方を間近で拝見し、尊敬の念を抱くと同時に、あらためて医師の仕事の素晴らしさと大変さを実感するようになりました。今後もセンターを通し医療従事者へのサポートに携わっていけることに感謝しつつ必要な支援が行えるよう努力して参りたいと思います。

末筆ではございますが、この報告書作成にあたりご協力いただきました関係者の方々へ心より御礼申し上げます。また、2020年度より新体制がスタートしました。引き続きご高配を賜りますようお願い申し上げます。



## 活動年報 2018・2019 年度

発行 大阪医科大学女性医師支援センター  
〒569-8686  
大阪府高槻市大学町 2-7  
大阪医科大学女性医師支援センター（人事企画研修課）  
TEL 072-684-6222（直通）  
FAX 072-684-6729  
MAIL smart@osaka-med.ac.jp

制作 女性医師支援センター事務局 赤田、生田



<https://omc-smart.jp/>